京城日報
二十四日夕刊
本紙定價 一部金二錢五厘 一ケ月金五十五錢 三ケ月分一圓六十錢 六ケ月分三圓十錢 郵稅一ケ月金十錢 前金ならざれば發送せず
廣告料 五號活字十六字詰一行金拾錢 ▲二號活字 ▲三號活字 ▲四號活字
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城大平通一丁目 合名會社 京城日報社
電話 編輯 營業 振替貯金口座京城

○證券募集成績

二十二日を以て締切たる臨時國庫證券の第一回募集成績は一般募集九千六百八十萬四千九百五十圓、日本銀行應募三百十九萬五千五十圓合計一億圓の手一杯なり、內現金應募五千六百五十五萬二千六百圓、預金部代用四千三百三十三萬七千四百圓にして一般應募發行額の九割七分弱に達したり(東京特電)

○廣東非常國會召集

在廣東國會議員五十餘名は明二十五日非常國會開催す可き旨關係各省其他に通電せり(北京電報)

○陳炳焜の宣戰通告

廣東督軍陳炳焜及び朱慶瀾は獨墺兩國に對し宣戰せる旨廣東駐在各國領事に通告せり(上海電報)

○招商局賣却反對

支那招商局株主連は同局をして日本に賣却することに反對しつゝあり(上海電報)

○英の對講和回答

法王の講和提議に對し英國政府は之れに回答して曰く法王の提議に關しては英國政府は誠實なる仁慈を以て考慮すべしと(路透電報)

○獨議會講和承認

獨逸帝國議會委員會は羅馬法王提案の講和條件を承認し講和に關する交涉を開くに決す(路透電報)

○西班牙の叛亂續出

西班牙バーセロナ及び其の附近の都市にて去る十三日一般的同盟罷業宣言以來叛亂續出し屋上窓口より發砲行はれ多數の死傷者あり(倫敦電報)

○廢帝哈爾賓移送說

西比利亞トボルスクに遷されたる露國廢帝ニコライ第二世及び皇后再び嚴重なる護衛の下に哈爾賓近き小市街に遷らるべしとの說高し(露都電報)

○石井子華市著

遣米特派大使石井子は二十二日無事華盛頓に到著せり(華盛頓電報)

○匈國首相任命

曩に辭職せるヘデルヴァリ伯の後任にはアレキサンダーヴエアール氏任命せられたり(路透電報)

○諸戸清六氏來鮮

三重縣豪商諸戸清六氏二十三日夜釜山著連絡船壹岐丸にて到著し二十四日午前十時三十分釜山發列車にて京城へ向へり(釜山特電)

○牧野博士歸東

東京帝大教授法學博士牧野英一氏馬山鎭海視察の爲め二十三日馬山に來り視察の上直ちに釜山に向ひ出發したり(馬山特電)

●豫算編成進行

新規事業の査定終る

大正七年度朝鮮總督府及び所屬官署の豫算概算は既報の如く長谷川總督山縣政務總監鈴木度支部長官等參集凝議の結果其の新規要求に對する査定を行ひつゝありしが兩三日前右査定終了せしに付査定されし各官廳の豫算概算案は一應其々返附し來りたる模樣にて各官廳は右査定案により更に新たなる概算書を作製し月末迄に總督府へ送致すべしと

●總督兩宮訪問

長谷川總督は齋藤副官、藤波通譯官を隨へ松川軍司令官帶同二十四日午前十一時總督府出門昌德德壽兩宮に赴き司令官の就任を披露する所ありたり

●軍司令官歷訪

駐劄軍司令官松川中將は二十四日午前八時三十分司令部に初登廳し參集したる高等官、判任官總員に對し夫々新任の挨拶をなしたるが右終るや直ちに馬車を總督府に驅つて長谷川總督を訪問更に總督帶同にて昌德德壽兩宮に參候し其後李堈公李埈公立花第十九師團長古海憲兵隊司令官を歷訪したり

●長官局長訪問

二十四日朝松川軍司令官の訪問を受けたる總督府各部長官局長並に所屬官署の長等は二十四日午後一時より司令官々邸に到り夫れ〳〵就任の賀びを述べたり

●連絡統一協議

鮮滿鐵道實施の結果從來對立の形となり居れる安東驛及び新義州に於ける設備の統一を實行する事は差當り排鐵後著手すべき必要事たり國澤理事長も過般東上の際其の旨言をなしたるが近く滿鐵本社並に京城管理局より委員出張安東に會合して右の統一實行に關する調査並に打合せをなす事となり居れるが京管よりは横井局長三本營業課長の兩氏出張本社よりは西村營業課長貝瀨運輸課長出席すべく差向き鮮鐵安東出張所の如きは廢止されん向て遠からず實行さるべき鮮滿普通急行列車の開始に伴ひ兩鐵道直通旅客の乘換廢止については支那稅關と交涉の必要あるもコハ現に鮮滿直通列車に於て實行しつゝある事を新たなる普通急行に及ぼさんとするに過ぎず素より何等の問題をも惹起せざるべく然もコハ兩委員の安東會合後交涉進めらるべし

●鮮銀新株拂込

朝鮮銀行にては本春決行したる增資新株一千萬圓の第二回拂込み一株に付二十五圓乃ち二百五十萬圓を九月十日より十四日までの五日間に行ふ事となり近々公告及び通知をなしたるが拂込受附は朝鮮銀行鮮滿內地に於ける本支店並に横濱名古屋京都下の關の第一銀行支店なり

●輕鐵許可工程

鳥致院を中心とする輕鐵問題は屢報の如くなるが其の工程は或る筋より洩れ聞く所によれば第一期に鳥致院公州間第二期に鳥致院清州間第三期に清州忠州間となし線路の完成を告げたる後に於て平澤忠州間工事に移るべき等なりと因に平澤市民は本問題の發表を見るや多年の宿題解決されたるものとなし二十日夜大々的提燈行列を行ひ祝意を表したり(鳥致院)

●日露電報平調

浦鹽にては露國々境封鎖以來の解禁をなしたる八月十五日迄浦鹽局の引受けに係る日露電報の大部分を差押へて發信せざりしために露國に關係ある各方面は大に困じたるが國境封鎖の解禁となるや浦鹽郵便局は山積せる日本行き電報の發信を迅續せしため十六日以來京城郵便局中繼に係る日露電報の輻輳は非常なるものあり又遲延しゐたりしが昨今漸く平調に復したりと

●龍山學校增設

敷地建物の寄附

既報の如く來る三十日午後三時より京城學校組合會議場に於て開催すべき京城學校組合會は大正五年度組合費決算承認の件を附議すべく同時に目下京城府、道、陸軍側と協議中の龍山に小學校增設問題を提案すべき筈なるが之に關し聞く所に由れば龍山軍司令部より京城府に對し同所に小學校設置の希望を附し司令部傍に現存する將校寄宿舍建物及び敷地寄附の交涉あり其の結果去る十七日午前入澤京畿道第一部長は大塚道學務係主任及び山內道地方係主任を隨へ金谷府尹と共に右建物及び敷地の視察を爲したるが敷地全部約四千坪內建物約二千坪にして右建物は約一萬四五千圓を投ずれば十二學級の教室を得るに充分なるべく又校庭の二千餘坪は運動場として京城府內他に其の比を見ざる所なりと而して昨年新設せし東大門小學校の如き實に四萬五千餘圓を費せしに比較すれば僅々一萬四五千圓の經費にて十二學級の一校舍を建設し得るは一擧兩得と云ふ可し而かも第十九師團完成の曉には軍人の子弟より就學兒童三百五十餘名を見るに至るべく此等の兒童と滿鐵管理局員の兒童更に漢江通一圓の高等科兒童を收容すべき當局者の意嚮なるが如し

●西印度行小包禁止

丁抹領西印度宛の小包は之れを差立する事を得ざる旨二十三日遞信省より遞信局に入電ありしが丁抹は交戰國にあらざるに其處置に出でしは多分船腹不足等の關係ならざるかと

●畑作害蟲發生

平南大同郡及び平北碧潼地方管內に夜盗蟲發生し粟、蜀黍、玉蜀黍等の被害あり道に於ては何れも被害地の所有者並に小作人等を督勵し之れが驅除撲殺に努めつゝあり

●辭令

二十三日附を以て左の通り辭令ありたり

平壤府立農業學校敎諭 岡林袈裟彌

任公州公立農業學校敎諭 叙高等官八等七級俸下賜 公州公立農業學校長を命す 臨時土地調査局監査官 渡邊庭治

陞叙高等官五等 慶尙北道(慶北) 吉村 …

陞叙高等官五等四級俸下賜 吉岡 …

叙高等官六等七級俸下賜 …雄 … 剛

●駐劄軍現況聽取

松川軍司令官は二十五日午前八時十五分より市川參謀長、佐藤軍醫部長、生井法官等林課等各部長より其の所管事務現況に對する報告を受くべしと

□海の幸溢るゝ鬱陵島

將來は『魚島』とならむ

庵原總督府水產技師談

□位地 鬱陵島の位置は東朝鮮沿岸の一漁村たる竹邊との距離最も近くして其の間は約七十海里と稱せらる、迎日灣浦項より▲約百十二海里周圍十三四里の孤島にして面積三四方里を有し

□人口 內に朝鮮人の定住者約九千人、內地人約三千人なり、其の中漁業專業者は凡そ千三百人、他は農を主とし漁業を副業となす、陸產物には大豆、麥等を主とし林材之に次げるも近時は概ね禁伐林となせるが爲め林產物は極めて僅少なり

□產業 從つて本島經濟の基礎となれるものは水產物を主とし大豆之に次ぎ近時養蠶業の獎勵に伴ひ年產額一二萬圓の繭を製產するに至れり水產物は總額十四五萬圓にして鯣(鮮名イミンス又はシエーチ)鮑、ひらす、鯛、鮑、海鼠、若布、石花菜、搗布等を主なるものと爲す就中鯣の產額は最も多く每年十萬圓を下らず、尤も從來本島の住民は內鮮人共に漁業の經驗を有するもの極めて鮮なく、殊に內地人の如きは木挽、大工及び商人等の移住せるものにして彼等は初め柔魚の如き其の漁法簡易にして何人にても漁撈し易く、且つ棲息の多きものに向つて手を下し、始めて漁業の利益を知れる者にして其の沿岸漁業より沖合漁業に及ぶまで稍々規模の大なる且つ複雜なる漁業に對しては、殆んど之を顧みざるの狀態にて打過ぎ居れり

漁業 然るに這回予が同地に出張し普く沿岸を跋涉して全島水產物の調査を施せしに、到る處の沿岸に於て寒暖兩流に棲息する總ての魚類を發見し、之が漁場に於ても網漁業又は釣漁業の何れをも使用するに適當の箇所多く予より之れを觀る時は東朝鮮に於ける一大『魚島』と稱し得べき位置なる事を認めたり、由來本島は朝鮮海峽を通過せる暖流の一派が慶北長鬐岬を經て鬱陵島の西南端に至り更にその東南の沿岸を洗ふて茲に一大渦狀を作り、常にその暖流が岸邊より沖合に瀰漫するが爲め、之に乘りて廻游せる鯖、大中小鯖、鰹(すまかつを及びはかつを)、鰤、鯵、秋刀魚、飛魚、柔魚、鰆、ひら等の如き魚類は二三月より十一二月頃まで、各々其の季節を追ふて交替廻游し、殆んど周年魚類の跡を絕たず、而して一旦此の近海に來るものは其の餌料とするあみ(鰮)の棲息最も多きが爲め各種魚類は此の餌料に釣きて離れず悠々滯留するが爲め漁業上には最も便宜を有せり、又一面には北方より流れ來れる寒流の東北及び西北海岸に注流するが爲め、此の流れに棲息する鱈、イミンス、かいぎの如き底魚類は到る處に多く殊に此の島の周圍には之等漁類の棲息に適應すべき魚礁(瀨)を以て包圍しおれば殆んど周年其の棲息を見ざるなく是等底魚類の漁獲のみにても一大適當漁場と云ふべし

漁法 右の如く本島は寒暖兩流の交叉點にして、其兩流に棲息する魚類は槪ね此處に群集するの位置なるが爲め朝鮮沿岸中類例なき一大好漁場たるのみならず鯖、鰤、眼張等の底魚類も亦此の沿岸に棲息すること多し、故に以上の各種の魚類に對しては或は定置漁具を用ひ或は流網を用ひ或は刺網又は揚網を用ひ或は提釣及び延繩等を用ふれば何れの魚類をも捕獲し得べく鬱陵島の將來は其の開拓の餘地甚だ多く實に天與の寶庫と云ふべし、予の所觀を以てすれば現在本島十四五萬圓の水產額は之を漁獲と云はむよりは寧ろ拾ひ採るも同然と云ふべきにより、一朝之に對し適當なる漁具漁法を用ひ且實なる漁業を經營するに至らば數年ならずして四十萬圓以上の產額を擧げ得べきは困難なりと思惟せず、予は幸ひ出張の機會を以て同島居住者に對しそれぞれ事業計畫を指示し又漁具漁法を講話しおきたるが島廳及び漁業組合に於ても將來鋭意その獎勵に當らんとしつゝあり、されば事を期し居れるを以て幸にその實行を見るに至らば予が謂ゆる本島を『魚島』と稱する名稱を事實に表現し得べきものと信ぜり

●府尹郡守會議

京畿道管內府尹郡守及び郡書記主任會議は來る廿七日より四日間京畿道廳構內宣化堂に於て開催する豫定にして毎日午前八時より正午迄各種の打合報告等を爲す筈其の日程左の如し

第一日(八月二十七日)管內狀況報告聽取
第二日(同二十八日)訓示、指示
第三日(同二十九日)提出事項に對する協議打合
第四日(同三十日)打合

●郵貯受拂高

七月中に於ける郵便貯金受拂狀況を聞くに郵便貯金は預入人員二二、四三三人現金預入高百八十三萬四百十三圓切手預入高三千四百二十一圓にして拂戻額百六十一萬三千九百九十八圓あり同月末現在高內地人側八十五萬二千八百三十八圓朝鮮人側二百十七萬四千四百七十三圓を算し前月末在高に比すれば遙に增加を示し居れり又た郵便振替貯金は拂込高三百十六萬五千八十圓、口座振替高百五十六萬六千六百七十七圓拂出高二百五十七萬九千九百八十一圓、口座振替高二百十五萬三千二百七十三圓にして月末現在高七十二萬六千九百二十三圓を數へ之れまた前月末在高に比し若干の增進を見たり、而して證券受入高は一萬二千五百餘圓拂出高一萬四千六百餘圓にして月末現在高七十一萬八百餘圓あり僞ほ七月中の內國郵便爲替は振出三百八十萬九千餘圓、拂渡三百八十四萬八千餘圓、外國郵便爲替は振出六千百餘圓、拂渡一萬一千三百餘圓なり

●納税者に注意

京城學校組合費大正六年度第二期分は定納期も既に經過したれば府當局は已に督促狀の發布準備中にて兩三日中には發送の運びに至るべき豫定なれば未納者は此際至急納入せらるべしと

●露領狀況講演

二十四日午前八時憲兵隊司令部將校集會所に於て鳥井通譯官の極東露領の鑛物及び人種分布別に關する講演ありたり

●石塚總裁出發

石塚東拓總裁は既報の如く關屋土木課長小池參事を隨へ二十五日午前八時三十分南大門驛發列車にて湖南線方面の視察並に全南羅州郡宮三面の灌漑工事及び全北益山郡羅岩里開墾工事の竣工式に臨むため南行すべく來る三十一日午後九時南大門驛著列車にて歸任すべしと

●矢野通信課長發期

公務の關係上金剛山方面に於ける遞信事務視察出張を延期しゐたる矢野遞信局通信課長は來る廿七日若くは廿八日南大門驛發京元線列車にて出發すべしと

●中村熈務局長歸期 株主總會列席のため東上中の中村鮮銀熈務局長は二十七日東京發大阪に立寄り月末歸京すべし

●ヤング氏來鮮

廿六日午後入港連絡船にてパチフイツクメール汽船會社船客課長ヤング氏は上陸直ちに北行する筈(釜山)

●一高生徒團歸京 東京第一高等學校生徒二十一名は滿鮮旅行を終へ廿三日午前五時四十分出港連絡船高麗丸にて歸東せり(釜山)

●八月中旬氣象概況

仁川觀測所の報告による八月中旬の氣象概況は十日及び十一日に亘り中部を通過したる低氣壓の爲め同地方及び南岸に降雨あり續て十三日支那山東角に發生せし低氣壓は東進して再び半島中部を經て日本海に出でたるを以て中部以北に多少の降雨を見たり爾來高氣壓は支那大陸方面又はオホツク海を占め半島は其の域內に在りしを以て概ね晴朗なる天氣を持續したるが旬末に至り南洋より來りし颱風の影響を蒙り降雨を催せり而して本旬中の各地の雨量は京城は六〇耗前後に上りて木浦地方之に亞て三〇耗に達し共に平年量を超過したるも其の他は三〇耗以下にありて何れも平年量に比し甚だしく寡量にして殊に咸鏡南北道方面は本旬中殆んど皆無にして東部一帶は甚だしく雨量の缺乏を見たり氣溫は前旬の盛暑も經て本旬に入り一般に低落し旬平均に於て初旬に比し概ね約二度の低度を示し南岸に二五度より北東部の二〇度の間にありたり而して平年に比するも概ね一度內外の低度もありたり雲量は旬初に於ては屢々降雨を見旬半以後は晴朗の天氣を持續し朝夕幾分の涼氣を見るに至り各地共最低氣溫は概ね二〇度以下に下りたるを以てなり然れども日中最高氣溫は尙三〇度以上に上れる所多く殊に江陵の三四八度最も高度なりき今本旬中各地氣溫雨量を擧ぐれば左の如し

地名	雨量(耗)	平年雨量(耗)	雨天日數	平均氣溫	最高氣溫
龍岩浦	一二	六六	一	二三、八	三一、四
平壤	一一	六五	一	二四、一	三一、六
京城	五七	五〇	二	二四、八	三一、六
仁川	八	五二	二	二五、一	三一、七
木浦	三〇	二七	三	二六、〇	三〇、二
中江鎭	三	一九	二	二〇、五	三一、〇
雄基	｜	一三二	：	二二、二	三一、四
城津	一	四四	一	二三、一	三三、五
元山	一三	一二三	一	二三、九	三二、九
江陵	一三	一二三	三	二五、五	三四、八
大邱	一二	四一	一	二四、九	三一、六
釜山	二六	四八	三	二四、八	三〇、八

鳥致院

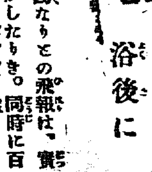
▲管理者問題 鳥致院學校組合管理者は曩に六月三十日限り辭職すべく其の筋に向ひ辭表提出せしを以て郡庶務主任岡野書記は六月八日組合議員を郡廳に召集し中島氏の辭表提出並に後任者選定方に就き協議する所ありしも出席議員兩三名に充たず殆んど何等の決定も見ず解散したるが其の後多少の迂餘曲折を經たりと雖も要は何等進渉の蹟を止めず有耶無耶の間に五旬を過ぎたるが偶々去る十九日海谷一部長赴任の途次本問題につき岡野書記及び組合議員を召集し幷が解決の速かならん事を希望したるを以て遂かに二十日夜及び二十一日の兩度に亙り組合會議員協議會を開催し後任者選定方に就き熟議したるも嚢に郡當局者が推薦せし福永太郞氏は斷然就職を肯せず其の他二、今村氏等又承諾せざる結果遂に有給管理者補者三名を立て事に當らしむべく其の人撰に關しては官廳側の意見による事と決定し其の旨直ちに郡當局迄申達したれば遠からず當局にも其の人撰を了り任命を見るに至るべし

晉州

▲佐々木一部長歸晉 久しく家族同伴東萊溫泉にて靜養中なりし第一部長佐々木正太郞氏は廿日歸晉せり ▲山下警部轉任 警務部附山下巡査部長は十六日附警部に昇任し京城本町署詰を命ぜられ來る廿八日當地を出發赴任する由 ▲自動車組合總會 馬晉間自動車組合二十一日午後一時より創立委員長原田宅造氏宅にて發起人總會を開催し二十二日一回拂込金五千圓終了し同日組合總會を開催の上役員選擧を行ひ二十五日役員上京し自動車三臺購入し遲くとも九月十日頃より運轉する由

人事消息

▲中川國太郞氏(韓國瓦斯電氣會社支配人) 廿四日朝入京朝鮮ホテルへ
▲寺本才太郞氏(鎭南浦) 廿四日退京
▲中澤庄助氏(運送業) 同上
▲馬板勝勇氏(文學博士) 廿四日午後入京京城ホテルへ投宿の筈



浴後に

○隈侯病危篤なりとの飛報は、實に何人をも驚かしたりき。同時に百二十五歲迄の長壽說と思ひ合されて何人も意外の感に打たれたりき。實際に餘りに突然なりし也。然ども病勢の輕減せしは、更らに何人をも喜ばせたり。未だ亡ふべからざる人也、切に加療全快を祈る。

○歷山大帝は、征服の術を知て、統治の術を知らざりし人也。故に其大帝國も、忽ち四分五裂するに至りぬ。今の成金は、金儲けの道を知るも、其の金を使用すべき道を知らず。即ち智慧なき也、其の傍若無人の振舞は寧ろ可憐。彼等は金持ちの歷山大帝也。

○眞面目なる時に於て行はれたる惡戲が、意外の滑稽と變化する事多し。或時某所にて、新任課長課員に訓諭の眞最中、突如扉を開き、半面を現し『やつてるナ』と云ひ去りし者あり。如何にも滑稽にして、爲に據の嚴肅は破れ、鹿爪らしき課長は、手持無沙汰なりき。之れ即ち惡戲を化して滑稽となしたる上乘の見本ならずや。

●總てに劃然と差別のある 支那南北兩方の色彩
新らしい文明は北方から入る

支那の現時は南方派と北方派があつてどちらも睨み合ひをして居るやうに思はれて居るが、實際の支那は左程でも無い

■由來支那人 は頗る融通の利く人間であつて其の南たり北たるに關せず者個人主義から割り出したものと見るがよい、彼の日本に永く居た梁啓超氏の如きも元來は南方の人でありながら今では北洋派の智嚢となつて居る。また

■復辟を唱道 した康有爲氏の如きも南方廣東人である、されば實際の支那には南方も北方もないと云つてよろしく却つて本家本元の支那を差し置いた日本に於て此の餘が云はれるのは不思議だと云はねばならぬ、併し支那の

■大陸を巡遊 して見ると謂ゆる南北兩方の色彩には劃然たる差別があるのを肯首することが出きる、——地勢上山河の狀態、人物の性行、學術、詩文の上に於て——それは充分の分野がある、先づ北方から云へばあの廣漠たる滿洲の野から遼、金、元、清各朝の興つたのはむりからぬ事である

■彼の歐羅巴 までも席卷した鐵木眞の如きも異個北方男子の眞面目を發揮して居る、されば既に周の時代から孔子も北方の强を稱して居る程で彼の萬里の長城を見ても如何に南方の支那歴朝が——漢時代から如何に

■北方の强を 防禦するに努めたかと解るのである、また支那四百餘州の尨大なとは言語文字に於ても到底『浪速の蘆は伊勢の濱荻』位の騷ぎでない、例へば同じ河にしても四川ではこれを川といひ、北方ではこれを河といひ南方ではこれを江と稱す、されば

■秦の始皇帝 が書を燒き儒者を穴に埋めたのも一面言語文字の統一といふ大業であつたと思はれる降つて康熙帝が官場及び科擧に北京官話を用ゐさせたことも始皇の遺鉢を繼いだものと云つてよい、斯くの如く人心を統一せむと努ながら一方燕の昭王が黄金臺を造つて懸賞の論文を募集した時から孟子、揚子、墨子等の學說が出て後世は

■二千年來の 孔孟の道に對し揚子墨子の說が革命の源となつた如きも面白いことである、要するに北方派は古來實行の人である、即ち周公、孔子、韓退之などみな自躬躬行の人である、これに反し南方は想像の人で彼の謝靈運、李白、東坡等何れも詩賦の天才者である、また

■北方は粗食 して騎馬し南方は細の衣服に船で行くといふ差がある、支那の南北、實行派と議論派これは古來からのお定りであつた、然るに今日最も注意しなければならぬことは現代支那に這入りつゝある文明は鐵路北より、するとである謂ゆる北方の强が常に新らしい文明を南方よりお先きに失敬するとである(納城留守詩伯談)

最近の大隈侯

●大隈侯重態に陷る
▽俄かに持病の膽石病起りて

大隈侯は二十日輕井澤より歸京後二十二日朝持病の膽石病起り二十三日夕刻俄然重態に陷り三浦博士其の他詰切り看護し居れり二十日夕左の如き容態書を發表したり(東京特電)

二十二日朝來心窩部(膽石病)疼痛あり體温三十八度六、夕刻發熱惡寒戰十三日午後一時三十分俄然惡寒戰慄體温四十度六に達す脈搏八十四同日午後四時三十分再び惡感戰慄體温四十一度四、脈搏百二十以上に至りしも午後四時體温四十度六に下れり

▼稍々安靜 諸名士見舞客引きも切らず

大隈侯は二十三日午後一時頃より容態稍々安靜に歸し安らかに眠りを取りゐたるが同十一時の診斷に據れば體温三十九度六分にて次第に低下し苦惱も幾分去れる模樣なり、侯爵重體の報傳はるや波多野宮相、武富時敏、田尻稻次郎、箕浦勝人、高田早苗氏其他拜內、天野、江木諸博士等二百餘名の見舞客相踵ぎ邸の内外は頗る雜沓し居れり

▼膽石病は今度にて三度目

大隈侯の膽石病は今回にて三度目の發作なるが其の第一回は二十年前松隈內閣の倒れし時、第二回は十二年前大隈邸の燒失したる時にて今回は早稻田學長問題にて心痛したる結果ならんと(東京特電)

▼御使差遣 葡萄酒御下賜

畏き邊にては正二位大勳位大隈重信侯重患の趣き聞召され二十四日午前九時御使を早稻田の同邸に差遣はされ病氣御尋ねとして葡萄酒一打を御下賜あらせられたり(東京特電)

▼廿四日の容體

大隈侯二十四日午前四時の容體は體温三十七度九分にして其他變りなし(東京特電)

▼見舞の諸名士

大隈侯は二十四日午前五時體温三十七度九分、脈搏七十八、呼吸二十八にして意識明瞭安靜の狀態にあり二十四日朝の重なる見舞客は犬養毅、箕浦勝人、大島陸相、寺內首相代理、田遞相代理等なり、山縣公、松方侯は特に見舞の電報を寄せたり二十四日午後一時靑山博士歸京診察す(東京特電)

●本町通りの交通取締りが嚴重になつた

京城本町通りは街路割合に狹き上に交通頻繁なる爲め種々の交通事故多く所轄本町警察署にては豫て其の取締り上制限を加へ施行中なりしが這回更に取締りを嚴重に勵行することゝなれり從來運搬用の車は積載車といはず通り拔けを許さゞりしが此後は一層其の勵行をなすことゝなり又本町通りより搬出する貨物或は搬入する物品は黄金町通り及び其の大路よりし本町通りを通行せぬこと、許可を得て通行中の荷車等にして本町二丁目贊化堂醫院前及び大阪屋前の坂路に差し蒐り時間を要して立ち止まるが如きことあらば通行せしめず却つて引還せしむるやも計り難く尙市街美を傷ける擔軍は表通りを徘徊せしめざることゝなし横路の交通上障害とならざる範圍に一定の溜り場を設け荷主客より呼ばれたる際表通りに出づること、樂隊の囃子する廣告行列は一切通行を禁止すること等本町警察署にては二十四日午前管內の運送業者を召集し其の旨訓示する所ありたり

●油槽大爆發

二十三日日本石油會社直江津製油所の三千石の油槽より發火せし爲め大爆發をなし盛んに黒煙を吐き原油六百石燒失せりとの報あり(大阪特電)

●看守拔劍して鮮人を斬殺す
燒酎一升餘りを呑み亂醉の末

平壤監獄鎭南浦分監在勤看守大分縣北海部郡佐賀關町生の宮本雅吉(三七)は二十二日午後六時頃退廳の歸途新興里の鮮人飲食店にて外三名の鮮人看守等と燒酎を飲み宮本看守は約一升位を飮みたる模樣にて午後十一時半頃自宅に向け龍井里の路上を通行中居合せたる傍人を痛罵したるより鮮人等と言ひ爭ひ居れる處へ偶然通り蒐りたる金德龍(三二)が二言三言突へたるに憤怒しゐたる看守は俄かに拔劍して德龍に斬つけ左頭部より掛けて左頸部の動脈を切斷し一刀の下に即死せしめ其儘逃亡して姿を晦ましたり急報に接し鎭南浦署にては非常手配をなして行衛を嚴探中翌二十三日午前零時二十分頃麻田里遊廓に潛伏中を逮捕し留置取調べ中なるが同人は當時前後不覺に陷り居りし旨申立て頗る謹愼し居れりと

●咸南に降雪

咸南長津郡邑內より西方約六里を隔てたる平安北道との境界をなせる老田嶺(標高二千二百四十五米突)の山巓に八月十一日夜降雪あり附近農民は豐年の兆なりと喜び居れりと

●江原道長官 三井鑛業を訴ふ

三井鑛業事務所員の國有林盜伐事件に對し江原道長官は三井を相手取り四千六十圓七十三錢要求の私訴を元山地方法院に提起したり(元山特電)

●元山遊廓の指定地

元山遊廓移轉指定地五千三百五十二坪は市外陽地洞に決定したり(元山特電)

●水害見舞取次打切 謹川郡守…

▲金三圓京城… 氏(…)…以上にて一先づ打切りとせり…

●朝鮮の一佛畫家(上)
●金石翁を訪ふ 釋王寺創建の縁起
〔鮮人の…釋王寺夏籠りの記〕(六) 秦 瞬星

夕食を濟ました後、衣を改めて、金石翁老師を尋ねる、老師は中々人望も高く、またこの釋王寺が近年になつて、これだけ盛んになつたのも皆老師の力に預かつたものださうである。當然この釋王寺の住持であるべき筈にも拘はらず、老師は避けて自分の弟子等に住持をさせてゐる。そしてまた老師は朝鮮一の佛畫家だそうである。老師は、近頃當地へ避暑に來てゐる関內夷子に自分の居室を讓つて、自分はガランとした板の間の上に長方形の箱を据ゑて臥てゐる。私が入つて往くと、痩せこけて骨と皮ばかりの老師は苦しそうに暖に眼ひながら、やをらに起き上つて『誰何樣で?』と聞く。私は名刺と紹介狀を出して、

『私は二三日前にこちらへ參りました。すぐ御伺ひする筈でしたけれども、丁度老師が御病氣で他へ往つてゐられると聽いて、老師の御睡りを待つて居りました。』と云つた。『ハ、それは辱けなうございました。實は醫師に見て貰はうと思つて、一寸その邊まで往きましたが昨日歸つて參りました。』『して御容態は?』と聞くと、老師は目をじつと瞑つて『何しろ老衰して居りますからね…』と、いかにも自分の死が遠くないうちに來る事を豫期してゐる樣に答へる。私は『御病氣のところ甚だ恐入りますけれども、この釋王寺の縁起が聽きたいのでございますが…』と願つた。すると老師は衰へた身體の割に確かな語調で語つて與れた。

『元々この釋王寺の縁起は、昔我が李太祖が未だ御位に御卽きになる前の事で、或日假寢をしてゐられたが、萬家の鷄が一時に鳴き、千家の砧が一時に鳴るのを聞き、又破屋に入つて三椽を負うて出、花が落ち、鏡が地に落ちるといふ夢から驚いて御覺めになつて、その夢の吉凶を知らずして鬱々としてゐられたが、丁度その邊に、よく夢を解く老婆があると云ふ事を聞かれて、その老婆にその不思議な夢を解いて貰はうと思はれたそうだが、その老婆のいふには『私の樣な女が何うして大丈夫の事が解りませう、此より西へ約四十里ばかり往かれると、雪峰山の土窟中に世間や名譽より逃れて、松を食ひ葛を落して、言行非凡な異僧が居ります。その形貌が黒いために黒頭陀と申しますが、座つて動かない事九年に及ぶといふ僧が居りますから直しくその人に聞いて下さい』といふので、太祖は布衣藜杖で、その僧を尋ねて往かれた。

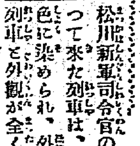
讀者文藝(一等に五十錢薄謝進呈す)

△謎『萬年筆とかけて』(寄ける)

△…行きの…と解く 心は…

▽一口噺『丑時の參り』

○鎭南浦の靴事が五圓で買つた鏡が千五百圓もする名鏡だと云ふ事を聞いて 與太『それじや俺が夜店で買つて來た指環も裁判所で調べて貰たら純金かも知れぬ』一つ告訴して見よう(一等)



松川新軍司令官の乘つて來た列車は、黒色に染められ、外の列車と外觀が全く異ふ、それにいくらか低いやうであるが然し中に入ると仲々立派なものだ▲ロシヤ式の列車だなと考へつゝ將軍出迎への記者は色々其筋の人に聞いて見た▲所が案の如く其の列車は日露戰爭當時の鹵獲品で、何でも露國一軍の司令官が乘つてゐたのだと云ふ▲車體なども、窓から手を出して叩くとドン〳〵音がする、乃ち厚い鋼鐵板が張られ銃丸を防ぐ事となつてゐたものらしい▲其由緒ある列車が軍司令官用として朝鮮で用ゐられてゐるのは仲々興味がある▲松川司令官と云へば謀略の大家で日露戰爭の殆んど將軍がしたと云はれる位の傑物▲然も詩も書も誠に巧みな所謂文武兼備の將軍だが▲人に對するや何等飾らず、溫情掬すべきものあり、其の町嚀なのには沿道の送迎者も驚いてゐた▲官邸では其の子達の教育の關係上家族を伴はず、前任の秋山將軍と同樣獨身生活ださうな

●物置で爆發 平南龍岡郡邑內…

…目居住南大門驛小荷物係り熊井專一(…)は七月五日午後三時過ぎ吉野町一丁目金炳觀三女金鳳順(八つ)が水…して無事に金鳳順を救助したるより人命救助として『月二十日警務總長…

一、副井寮…三等(二百三十五名)…廿三日午後釜山入港…丸一二等客…

(…總督府…)募集規定

■募集規程…

商況

債券現物特電
二十四日出來値

東京 甲號拓殖	七八、五〇
京城 …	一五一、一〇
南滿鐵道 …	一四六、五〇

東京公債直取引
…

深川正米特電
二十四日出來値

…	八二、五〇
…	九六、八〇

東京期米特電
二十四日前場

當限	二二、四五	八、九〇
先限	二二、四六	五一、三〇
	二一、三一	一二、七六、八四

大阪株式
二十四日前場

宇治川水電	一五〇、〇〇	
京阪電鐵	一五〇、〇〇	二一一、五〇
東洋紡績	一五〇、〇〇	二〇四、五〇
合同紡績	一三〇、〇〇	二〇五、〇〇
同上新株	一五〇、〇〇	二三九、五〇
東洋紡織	一五〇、〇〇	一三五、一〇
大阪商船	一五〇、〇〇	一四七、四〇
日本郵船	一五〇、〇〇	一三〇、一〇
同上新株	一五〇、〇〇	一三七、一〇
堂島米穀	一五〇、〇〇	一四四、五〇
東京株式	一五〇、〇〇	
大阪株式	一五〇、〇〇	三六八、一〇
大阪新株	三〇、〇〇	

大阪三品特電
二十四日前場

八月限	三三五、〇〇
九月限	三五五、〇〇
十月限	三五六、五〇
十一月限	三五〇、〇〇
十二月限	三四九、〇〇
一月限	三四九、四〇

大阪期米特電
二十四日前場

當限	二一、五五
中限	二二、一九
先限	二一、五〇

下關期米特電
二十四日前場

	寄付	中限	先限
	二二、一五		
	二一、五五		
	二一、五七		
	二一、六〇		

雜報

●綿糸布再び不勢 遂に五十圓臺を割り綿布は龍ー現物十圓六十錢

昨前場引戻しを見せし大阪三品相場も矢張一時の呼戻的成行きたるに過ぎず昨後場に至り忽ち下げ足となり先に不勢の成行きとなり今前場更に三百五十圓の大崩れを演じ先限は遂に五十圓臺を割り綿布は龍ー現物十圓六十錢と之に更に一錢の安値を示せり

●禁輸と器械類 契約品に限り八月十日迄特許 企業計畫上の不便勘からず 條件附

米國輸出禁止以來鐵製品の如きは最も不便なる事あり…

●撫順炭不足 撫順炭は依然

産額少く昨今新義州以南に下るもの一日平均十六車內外に過ぎず寒も昨日の如きは彼の需用にも足らずされば貯炭は殆ど無きのみか市中向きの如きも依然皆無にして之を一昨年同期の七八千噸內外の貯炭ありしに比ぶれば甚だ心細き狀況なるが今後の輸送補充に就ては當局者は頻りに盡力中なるも

■貨車を得難きより行き惱めの狀態なるが今日の貨車供給より推せば假令本年度さへも日の需給を得るにせよ此短期日の間に充分の力を伸ばさす事は不可能ならむと思はるゝに九州炭の移入難や一般消費力增加せる際なれば遂に品不足を免がれざるべく撫順炭の

■値上說 を傳ふるものあり今回は單に需に止れども其の救濟策としては恰好の計なるべく或は早晩實行されんやも知れず

●砂糖賣止と市況

砂糖は廿三日日本臺灣の兩製糖非に賣止の入電あり之が理由は未だ精報なき爲め判明せざるも鮮內に於ける砂糖取引禁止及輸出制限等の影響によるものならんといふ賣止め解除の暁は果して如何なる値段を發表するか之が斯界の注目點なるが合社側も此逐伝達の結果賣止めを爲せしものなれば値上げの程度に付ては未だ全く豫測至難き有樣なり當市中問屋側にあつても大に氣迷ひて同業者中殆ど賣止めと同樣の方針を取れる向もあれば高値を主張する者もあり兎に角將來の値段發表を待ちつゝあり ■市況は頗る混沌

●染料益々高し

東內地高の影響を受けし染料は洋紅、味紅、ローダミン、カーボミン等の臨貴を初めとして其他一般にヂリ高模樣を呈し鮮人向加工染料又各工場の上げの進行を追られつゝありしが各對抗品との關係上僧に何れも傍觀的に時機を窺ひ居りし處最近東京に開かれたる染料交換會に於ける成行き强硬なる報じて鼓許念々値上げの決行到來き事となりたるもの如く當洋行に於ては此一兩日中に之が發表を爲すべく內定せりといへり又總需洋行の方は昨今の處現狀維持を唱へ居れるが前約品の引渡し一段落せば何れは大勢に伴ふ値段の引上げを行ふに至るべし

●洋灰依然浮動 市中

セメントは投げ拋り的の品依然浮動せるため市價依然亂調にして今日市價標準上到底不引合なる値を現はす事あり昨日某所小口の入札に八圓內外といふ噂なるだけ大手筋の札ありしといふが之を傍觀しつゝある之等■投げ物は最早多からぬ上之等入札に片づき自然の相場に復歸する事となるべく探算值段十圓臺の實現も遠からざるべし

●靴下手袋類不況

綿糸暴騰以來市中靴下製造業者は其手持品を賣り放ら或は原料仕入れに苦しみてか殆ど作業休止中なる屋も少からず如くなるが之により折柄勃興の氣運に向ひつゝありし同業に頓挫し■新注文も等しく行惱みとなれる傾あるが之等製品は大系の原料大部分を地に仰ぐ事とて■原料高の影響を受くる事最も甚だしく…

●甘藷地場物出づ

甘藷の走り物は數日前より慶南產の入荷ありしを初めとし其後續々中國九州各地より到著し…

京城正米

…したれば收獲とゝもに一般食料不足を補ふ事となるべく値もまた十錢內外位下らむとの見込

入荷安傾きに連れ市況の成行き又小口買入も多少氣兆ゐ出來たるもの如し朝來の出來値は神力種十九圓三十錢在來種並十八圓六十錢臺にして約一二十錢安の見當なり鮮白又二十錢方引下がり極上二十二圓三十錢見當なり

南大門の廻穀

全義 玄米	四〇叺	水原 雜穀	六八叺
東林 大麥	二〇〇叺	沙里院 玄米	四〇叺
南市 麥	二三八叺	連川 大麥	二八叺
平澤 白米	五二叺	平澤 白	七四叺
平澤 白米	三九叺	平澤 白米	三八叺
新幕 小麥	二一〇叺	東林 大麥	四三叺
一山 白米	五〇叺	馬洞 小麥	三九叺
東林 大麥	七五叺	水原 白米	六九叺
東新 大麥	一三七叺		

釜山穀物(廿三日)

▲正米(氣配の五十錢安) 大阪定期米は昨前場より丁度百十方の棒下げを演じ本日寄先入電は二十一圓二十七錢との報あり今市場買望人は依然として精米補充口よりの買望に外ならず然して今後卒賣りの大勢落と共に附屬會一層の安附は然して各米主側も賣腰强硬なるさは云へ定期の暴落を睨め投げ出したる向もあればまづ氣配四五十錢安にして午前中玄米僅八百臺內取引ありたり

生魚市場

可成りの入荷あり連日荷捌きの後をて人氣よろし京城魚市場建値如左

タイ一三、同元山一八、小タイ一二〇、サワラ一六、ヘモ二〇、ウスキ一六、クルマエビ七〇、ニベ一五、イワシ一〇、マス二〇、タコ二五、コノシロ二〇、ザコ

(イ) 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 今村覺次郎 電話 長三三七番 三六八番

釜山水產市場(廿三日)

▲入船數七十七隻 ▲ひたい二十五圓 ▲あはび十五圓 ▲らめ十圓 ▲わび四十圓 ▲たこ七圓 ▲すいき廿圓 ▲はも八圓 ▲雜魚六圓 ▲合計四百五十八圓三十二錢

仁川期米
▲二十四日前場(保合)

▲兵庫前寄二十七錢 ▲大阪天候晴 天前寄二十一圓五十七錢と昨止より六錢安の入電にて當地寄出來不申中十九圓五十錢 先十九圓十…六錢と三錢安に寄付 押目は又買物多く折八錢と跳れたるも戻りは賣物多く四錢と押したるが ▲大阪六節五十三錢 六十七錢七節 新六十七錢と高移りに買物現はれ二十二錢と依然保合の上伸し一錢 裡に小堅き成行 を示して散會

▲二十四日前場 當限 前場不申 ▲中 ⊖十九圓四十錢出來高二百石 ▲先限 ⊖十九圓十六錢七錢 八錢七錢⊖十六錢五錢四錢五錢六錢 五錢⊖十五錢六錢⊖十六錢七錢九錢 二十錢一錢二十錢⊖二十一錢二十錢 一錢二錢一錢

市場零聞

▲保合小堅し 天候晴 天今朝大阪の小甘き入電に十九圓十六錢と寄付きたるが買腰勝にて八錢と返り其他の買物現はれ四錢と押したる受けて因縁他よりの買に支へ大阪跡二十二錢と跳ね返し一時共他の賣物多く二錢さ散會を告げたり市況は別段に變りたる事なく ▲正米 前場は一時共の安人氣を傳ふ安値は前宝の賣かれたる向も多く ▲只人氣安に止りよりすれば依然高唱へにて一向商行はれずとの事なる尊定期市場にも安値は賣方の警戒し居ると說派は依

▲取組高增大 仁川市

仁川米豆取引所 二十四日の十月限

	前場	後場
寄付	十九圓十六錢	
止め	十九圓二十一錢	
高値	十九圓二十二錢	
安値	十九圓四錢	
出來	三萬六千五百石	

平均値段

一節	十九圓十七錢
二節	十九圓十六錢
三節	十九圓十五錢

二十三日後場 一九、二〇 一九、一一 一九、二三 一九、二六 …

▲仁川米豆取引所仲買人 (今)仲買店 主任 西川平治郎 電話 一五九番 一八八番 自宅 電話 七二〇番

▲今 同店の賣三千餘石買千餘石 ▲◯ 同店の賣千餘石買二千餘石 ▲全 同店の賣二千餘石買千餘石 ▲◯ 同店の賣千餘石買千餘石 ▲全 同店の賣千餘石買千餘石 ▲◯ 同店の賣二千餘石買八千餘石 ▲◯ 同店の賣六千餘石買四五百石 ▲◯ 同店の賣二千餘石買三千餘石 ▲四 同店の賣四千餘石買五千餘石 ▲一 同店の賣千餘石買千餘石 ▲今 同店の賣千餘石買三千餘石

…にして如何物の現はれざる當然の成行であると米は僅々八、九千叺に過ぎず各精米所の原料米として過少なるも是位は準備のある筈とて殆んど皆無にて如何に人氣のみ安唱へなるも買物すれば市場の賣物として殆んど皆無

七萬二千六百叺は定期の受渡し米にて仁川市中の在…計叺合の受渡し豫想假に二萬石と見て四萬合算受渡しに了りたるもあり八月限受渡米三萬二千六百叺內千五百石…方は力武筋島井筋にて共に强氣であるを除せば

▲正米事情 去る十五日仁川穀物協會の調査に係る在市米は八萬千餘石であるが內譯に就き消息通の語る處に依れば右八萬千餘叺の內に七月限受渡米三萬二千六百叺…後日に讓せんのみ

▲定期の崩落は望まれず ▲正米の崩れざる限り 朝天候…定期に於て…に一よりに大阪の成行は或は今や正米の兎に角需給に在り…算の時期に於て巳に正米界の如何…

▲境に而も割高の米が思惑して以如何に處分

▲新古米端境 …

▲强氣筋 は日…

⊕仲買店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話 長九〇五番 八三一番

▲大取組と强弱 仁川 ける十月限戰は昨紙所報の如く强弱の腰入存外深刻にて米界の問題の一取組迄に十萬石に上りたり當限は一萬四千五百石にて二萬三千五百石と減少したるに反し先限は十萬〇三百五十石と大取組を見るに至り如何に腰入の深甚なる否かを知るに足る者あらん ▲弱氣筋 の說く處は本年の作柄如く特に相にして强弱の腰入益深く市中に於ける先限の戰は…昨日來…作な見越しの時に際し尤も今後…なるあり大阪の成行は兎又大候の上…

外苑の設計始んど成る

明治神宮御造營事業の近況 竣工の曉は帝都第一の壯觀

明治神宮奉賛會の事業は其後着々進捗して、總坪數十四萬五千坪の外苑の設計も略ぼ纏まり、古市工學博士監督の下に向ふ五箇年間に

▽竣成の豫定 で工事に着手したるが、その第一著手は伊藤公爵家より献納せる恩賜館の轉築にして既に伊藤公爵邸内に於て全部取り毀し近く花苑の東北部權田原に建築する筈にて本年中に落成の筈なり、明治神宮奉賛會の水上專務理事は語る「本會の事業も豫想外に進捗し三十萬圓の御下賜金の外

●各地よりの献金六百七十萬圓に上り、本年七月三十一日の調べに依ると、申込六百四十一萬四百八十三圓八十四錢一厘で、其の内拂込になつたのが五百十三萬九千四百二十二圓三十二錢七厘に達して居るそれに利子だけでも尠なからぬ額である、年五分の利子で今日でも十一萬圓餘になつて居るから、本年末には二十五萬圓の巨額に上る譯である金の方は

▽斯く好成績 であるが、工事の方は如何かといふに、全體の設計に就ては略纏まつたが、全く確定とまでは行かぬ、研究して行くに從つて多少の變更はあらうと思ふが現在の計畫では、中央を圓形の花園とし、其の右の方に恩賜館、左の方に繪畫館、繪畫館の右方に運動場を作ることになつて居る、たゞ問題となるのは花園の北方に在る葬場殿の跡である、それは

●此所が葬場殿であつたといふことを永遠に記念するやうなものを設けたいと思ふので、外國人も驚くやうな偉大な銅像を建てたいといふ說もあれば、神木を植ゑて清淨な靈地にしたいといふ說もある、容易に纏まらないから何れ懸賞にでもせねばなるまい、目下著手して居る伊藤公の恩賜館は

▽元赤坂離宮 の饗宴所であつたのを憲法制定當時此所で樞密院の會議が開かれ先帝陛下も出御になつたので、憲法制定の記念として故伊藤公に賜つたのである、それを今度公爵家から明治神宮に献納になつたので、外苑に建てることになつて居る、建坪二百五十坪、純日本式の建物で、內部の裝飾もなか〳〵立派である、建物に附屬した

●椅子や卓子は固より書棚花瓶等に至るまで先帝陛下から賜はつた物は一切献納された、又故伊藤公の遺物も献納されたが、惜しいことには大部分を既に神奈川の金澤文庫に寄附されて、同文庫では保存が不安心であるから、此れも收容して

▽憲法圖書館 を作りたいと思つて居る、それから繪畫館の方は耐火耐震の平家建で、建坪七百坪、二面に三間の額面五十枚を掛け得るやうに建築する豫定である、此の額面は明治天皇の宏業を表彰すべき明治の歷史畫を掲ぐるので、その內十枚は先皇后の聖德を畫題にすることになつて居る、總ての畫題に就ては金子子爵を顧問として藤波子爵、三上文學博士、赤司鷹一郎、德川(賴倫)侯爵、正木直彥、荻野文學博士、小牧昌業、澁澤榮一、中原邦平の諸氏が委員に擧げられ

●各方研究中で、既に選定された畫題が八十枚あるが、これを幾枚採用するか、何人に揮毫を依賴するか、又日本畫にするか西洋畫にするかは總て未定である、然し永遠に保存すべきものであるから、額縁にして繪具を餘程注意せねばならぬが、油畫の具は耐久力に乏しいから多分日本畫になるであらう揮毫者は

▽一代の名譽 であるから希望者も多からうが、技倆人物共に世に秀でた人でなければ依賴する譯に行かぬから、人選が困難であらう或は全部揮きあげずに、一部分を殘して置いて、後に現れる大家を待つことになるかも知れぬ、繪畫館の隣に作る

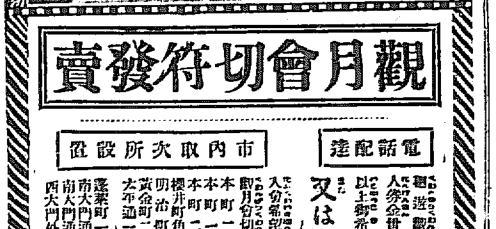
●運動場は五千坪の橢圓形にして競馬自轉車競爭ベースボール相撲其他如何なる競技運動でも出來るやうにするつもりで居る、今一ツ恩賜館の傍へ建てるものがある、それは舊新橋驛の建物が明治五年に建てられたもので、明治歷史に於て記念すべきものがあるから、之を此所へ移すことになつて居る、何にしても全部竣成の曉に於ては、恐らく帝都第一の壯觀であらう(東京)

●鬼の様な鮮女

子を殺して棄つ

慶北達城郡城北面砧山洞生れ當時大邱北內町金鐘方同居金飛伊(二七)といへる女は今まで二度も縁付きたることあるも其の都度離別されて目下獨身中なるに約一箇月程前出産したるを生け置いては妨げなりとて殺意を生じ去る十七日生兒を鐵道線路內に捨て轢死せしめんと企てたるも他人に遮られて果し得ざりしかば遂に人知れず生兒を絞殺して大邱本町鐵道…

觀月會切符發賣



本社主催 觀月會切符は明廿三日より發賣致す。汽車電車賃共大人券金廿五錢。十二才未滿の子供券廿錢(五才以下お斷り)三枚以上御希望の方は京城日報社構內電話一二二又は二三一番へ御申込みあれば直ちに配達致升

觀月會切符取次販賣方の承諾を得ました取次所は左の通りです

電話配達 / 市內取次所設置

本町二	町田商店	本町二	日韓書房
本町二	大坂屋	本町二	カツ屋
本町二	總公堂	本町四	丸山商店
櫻井町角	安本藥店	本町一	南大門通
明治町	細川商店	永樂町	日米商店
黃金町二	茨木商店	新町	野田藥店
太平通一	盛文堂	古市町	若米地商店
蓬萊町一	新舊書林	龍山	盛文堂支店
南大門通	信行商會	鐘路通	和平堂
南大門通	博文書館	鐘路三	廣學書舖
西大門外	濟衆局	大安洞	大昌商店
西大門町	大元商店	鐘路五	李道興商店

濱の砂

…入一日平均一千四百五十八圓 貨車收入合計一千二百廿一圓計三千六百八十九圓になるさうだ

■盲目の申譯 岡山縣阿哲郡萬歲村の盲目按摩小川基市(二四)は法廷で判事からお前のやうな盲目に惚れる女があるものかと揶揄された時見えなくても色は思案の外ですと平氣で答へた

■無情な男 朝鮮慶尚南道生れの鄭大俊(三五)は五年前郷里に妻子を置き去り楮谷金芬介(二八)と共に宮崎縣都城に駈け落ちして居住中一昨年妻鄭姓女(三〇)は長女(九つ)を連れ遙々內地に渡り辛うじて夫を探し出して棲し目下二歲の女兒を設けたのに又も鄭は妻子三名を棄て、情婦と共に姿を隱した

■小兒の徒歲から 鹿兒島…寶本信行(一〇)は十八日猿の里方鉄尾…で裝彈した小銃を弄つて居る內誤つて…

■若妻の發狂 岡山縣邑久郡…妻…(二一)は發狂して伴…六日村の山中に岩茶を飲め殺し己れは縊死して居た

■寺で二人殺し 奈良縣…熊谷運一(三五)は…住職…を殺し…

■稀代の無頼漢 鳥取縣西伯郡…松藏(二〇)は…

■癩病と言はれて…

■稅關出張所給仕採用 京城稅關出張所にては給仕缺員あり滿十四歲以下の志望者は自筆履歷書を本月二十八日迄に同所に出頭すべしと

■京城講習會 過日來數回の割烹講習に好評を得たる馬場秀吉氏の料理法は更に廿六、廿七兩日南大門內女子技藝學校內に於て開催さるべし時間は朝の八時より十一時までの間、希望者は庖丁、布巾、筆記帳、給仕見本入物(重箱)等を持參すべし 詳細は技藝學校(電話一七八八番)へ問合せのこと

浄瑠璃

△この頃東京では名人會といふのが流行してゐる、落語家、浪花節、琵琶など一寸名が出ると名人風を吹かせて浮れ出す、浄瑠璃界などでもこの弊風は擴つてゐる、研究會さでもいふなら好いが如何はしい連中が名人會の名乘りを上げるのは滑稽の至りだ

◆誰やらが素人浄瑠璃は五十歲を超ねぬと興味が面白いと云つた。長唄や新內などと違つて浄瑠璃は何んな人が語つても品の好いのはツマリ體度が備はるからで健康上斯んな良藥は無いさうだ。老年者に趣味の多いのも是れが爲めだらう

▲稻荷座の浄瑠璃 大分諦めが立つて來たので梅聚會と若葉會では二十五、二十六の兩夜本町稻荷座で聯合素人浄瑠璃會を催すさうだ。語り物次の如し …(昭…)

●京城より内金剛へ

平康、末輝里間 自動車運轉

既報の如く內金剛探勝客に最も便利なる平康、末輝里間の自動車運轉は其の後益々遊覽の乘客多き由なるが此の道によれば從來元山より…

◘海路長箭に 出で外金剛のみの探勝を試みたる人にも容易に內金剛の大觀に接するを得べし先づ京城より內金剛に入る人々は京元線により平康驛(龍山より七十四哩)…

◘一往復以上 の定期運轉を爲し昌道、末輝里間は假令一人にても乘客ある限り運轉すべしとまた內金剛長安寺には臨時電信電話局の設置あればはじめ海路外金剛より入りたる人にも同地より呼べば極めて便利なるべしと因に

◘運轉の期間 は八月一日より十月末日までにして運賃は平康より…

…昌道間(十四里十八町)は一人一圓に付き金二十錢昌道末輝里間(十八里十二町)は六人の時に限り一人四圓六十五錢平康、末輝里間の運賃合計七圓六十七錢となるべし、若しまた昌道、末輝里間…

◆五人の時は 一人に付き五圓七十錢なれば探勝客は成るべく數名にて同道する方便利なるべしと因に平康へは京城午後の列車にて下車し翌朝の自動車に乘る方便利なるべしと

演藝案內

黃金館 電話二六六

大正館 電話八七三

有樂館 早川演藝部直營

浪花館 電話二六〇 明治町

壽座 京城壽町

てんかん ヒキツケ 救生館 名古屋市中區南小川町

材木大發賣廣告 數百年來成長せる本道著名の海州郡羅德面所在羅時山立木全部を買收し目下盛に伐採し左記用材は現物御熟覽の上多少に不係御用命の程伏て希望致候 木材種類 松木、眞木、槐木、栗木、柯木、雜木 八月十五日 黃海道海州南幸町二一四番地 河成龍 告白

洋服 秋冬服割引特約 染縫替當分實費 附屬品買實代辨 京城黃金町 日新商行

貳千圓 當籤の築みある九月一日 六五回 債券 三十ヶ月 每月二通宛の抽籤 地方代理店及駐在員急募 朝日債券株式會社 大阪天神橋南詰

釜山商店案內 明治屋本店 釜山大廳町 雜貨卸問屋

內外雜貨卸問屋 近江屋支店 釜山本町二丁目

洋菓子洋酒 卸問屋 ミトヤ商店 MITOYA.CO 釜山幸町

洋酒罐詰 卸商 あづまや商店 釜山長手通 振替京城三九番

內外雜貨卸問屋 長岡商店 釜山弁天町長手通 電話八一三一番

內外雜貨 鍋釜金物 サクラビール 油石 卸商 近藤商店 釜山本町三丁目 電話長七六八番

髪をしなやかに 丈長がく 美しく房々と 漆のやうに 黑くするは 廣い世界に パール煉香油 があるばかり ……とは パール愛用者がおつしやる實話であります

本舖 東京 平尾銑也商店 關西代理店 大阪 平尾贊平支店

長男保治儀豫て病氣中の處養生相不叶今朝死亡致候間此段謹告仕候 追而明廿五日午後四時南大門外本店出張所若草町曹洞宗兩大本山別院に於て葬儀相營申候 父 中根澤一 親戚 中根松藏 總代 正木山松 友人 島田忠作 東生龜吉 總代 檜崎伊勢吉

小兒良藥 樋屋奇應丸 主治 驚風 吐乳 五疳 効能 解熱 疱瘡 痲疹 大阪天滿橋 樋屋合資會社 (全國到る處の藥店にあり)

りん病 ばい毒 京城永樂町二丁目 ドラッグ商會

くだりはらの氣持よく止まる 健胃固腸丸 大阪 谷田春堂 到る處の藥店にあり 食傷、寢冷、時候あたりより起る下痢と腹痛を治す 小兒には特製の小兒固腸丸あり

左甚五郎

第七席

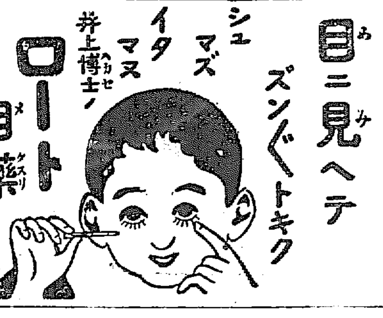
桃川如燕口演
浪上義三郎速記

甚五郎は久右衛門の宅に足を止めて居りましたが、流石飛騨内匠の仕込みでございますから伎倆も優れて居る故家内の者は皆々甚五郎を敬つて居りました、久右衛門が吩咐けたといふ譯ではないが、暇があると甚五郎仕事場へ參つて若い者に指圖をいたし手傳ひなぞをいたして居ります。此の久右衛門が平素御出入をして居りますのがお烏丸大納言殿のお館でございます。甚五郎は是を聞いて一ツの達磨大師の像を彫つて 甚「親方此の達磨は甚だ不作ですが俺が伎築に彫つたのですが、お出入先の烏丸樣へ進物として上げて頂きたい」久右衛門が見て感心いたし 久「何うも甚五郎さん美事な達磨が出來ましたね お前さんのお勤に從つてお館へ差上げませう定めし烏丸樣もお喜びになるだらう」茲で翌日久右衛門右の達磨を持參して烏丸殿の館へ罷出まして獻上をした大納言殿は此上もなくお喜びに相成り甚五郎へ莫大の御褒美を下し置かれたが、此の達磨は烏丸家の重寶となりました、甚五郎此處に足を止めること三箇年、是から江戸へ出やうと思ひました故此の話しをすると久右衛門も望みに任せて萬事支度をさせて出立の際には途中まで見送りました、甚五郎は皆々に別れて山科街道へかゝりそれより同國伏見を指して參りました、此の伏見に棟梁の金五郎といふ者が居ります故此の人を訪ねて此家に厄介になつて居りました、其内に棟梁金五郎が受負仕事で伏見の光顯寺といふ寺を建てますに就て萬事甚五郎に相談をすると甚五郎は素より得手たることでありますから、建かた其他彫物等を一手に引受けて美事に出來をいたしました、是が爲に甚五郎の名が大分高くなりましたが、是も天才の爲でございませう内匠ですが彫物を美事にいたします、普通の大工さんに出來ないことをする、是を見て金五郎始め伏見の大工衆は皆な舌を卷いて驚きました、其が爲め今では伏見の甚五郎〳〵と云つて他人に知られる樣になりました、スルと或日甚五郎の許へ參りましたのは、五十格好の男小肥りに肥滿た赤ら顏淘に人柄の宜い商人風、縞の衣類に縞の羽織、小倉の帶を締め叮嚀に挨拶をいたし 商「御免なさいまし 甚「お出なさい 商「伏見の甚五郎さんと被仰いますのは此方樣でございますか 甚「ヘエ甚五郎は私でございますが 商「貴下が名匠の甚五郎さんなら少々お願ひ申したいことがあります 甚「ヘエ何でございます 商「私は江戸表駿河町の越後屋八郎右衛門の手代善兵衛と申しますが、主人から申付つてお訪ね申しました 甚「はア左樣でございますか 商「他事でもございませんが、手前主人の出店が諸方にございますが、其の中に阿波國にも出店がございまして其の店から先達送り届けました恵比寿樣の像がございます、是は貴下も御存知でございませうが、運慶の作でありまして何うも誠に結構に出來て居ります、それに對の大黒樣を一ッ作へたいが、此の恵比寿樣に並ぶ大黒樣を作へる人は今誰であらうと云ふ時に、主人の申しますには伏見の甚五郎といふお方へお頼み申せといふので、今度商業用で此方へ參りますに就て出ましてございますが、大黒樣を一ッ作へて頂きたいものでございます 甚「ハア成程、承知いたしました、然し何の位の大きさでございますか 善「凡そ八寸程でございます、それに短冊を一枚添へて出店から寄來しましたが商ひは濡れ手であわの一掴み、といふ短冊附の恵比寿樣で 甚「成程、宜うございます造りませう」と甚五郎は承知いたしました

新築落成
京城明治町一丁目
入院隨意
胃腸病院
電話一六五九番
院主 佐々木杏造

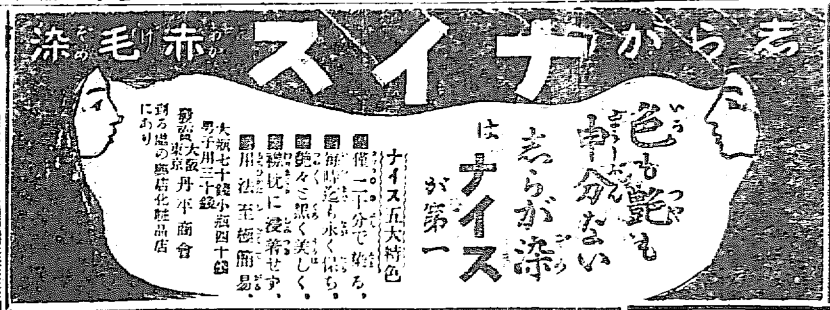
八月廿六日 九星
丙七月九日庚子
本命三碧卯定先負

▲三碧● 撓にしごろ事有り堅で新事見合 坤の方は吉 賭剣果▲四緑● 仕合よき 利欲求 出進 名弘 礼樂金作 欲創 人智業發 出▲五黄● 親切な謎て無になる事有日 往惡新事手控常の事は吉▲六白● 不圖和の事有日 新事手控事は吉小兒衛生水難ヿ用心▲七赤● 色情の 言爭用心の日新事手控孫事物を植るは吉▲八白● 遊び事の事有り手控事は吉保證印等せぬがよし▲九紫● 望み得る 日移居入學求職 名弘採鑛 金談嫁娶試驗を受る 營業吉▲一白● ふと慈善な施して大いに德を得る 事有過で利有待人來る▲二黒● 厄介な難に來る 事有新事手控萬事は吉婦人と交加するを忌む

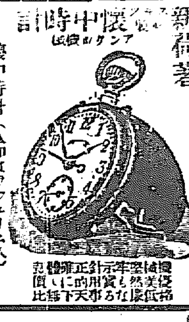


洋書畫普及の爲割引廣告
各大家揮毫横巾三尺八寸天地一尺二寸すべて五拾壹錢御送次第直に
二〇〇支局設置希望者急御申込乞ふ
東京下谷御徒町三丁目五三 洋畫協會

諸機械附屬品商
瓦斯管、手一式、專門 エルボ、チーズ、セント、クロース フランヂ、ソケツト、ブラツク 其他 傳達モノ、バルブ類、コツク類
塗料品卸商
日本ペイント會社製品專門 各種ペイント、ワニス、エナメル コールタール、油類、胡粉 各種刷毛、ペイントその他一式
京城南大門通二丁目
堀田京城支店
電話一三〇二番 振替京城一二九番
本店 大阪市西區靭南通四丁目



新著荷
懷中時計(アンクル檢査)



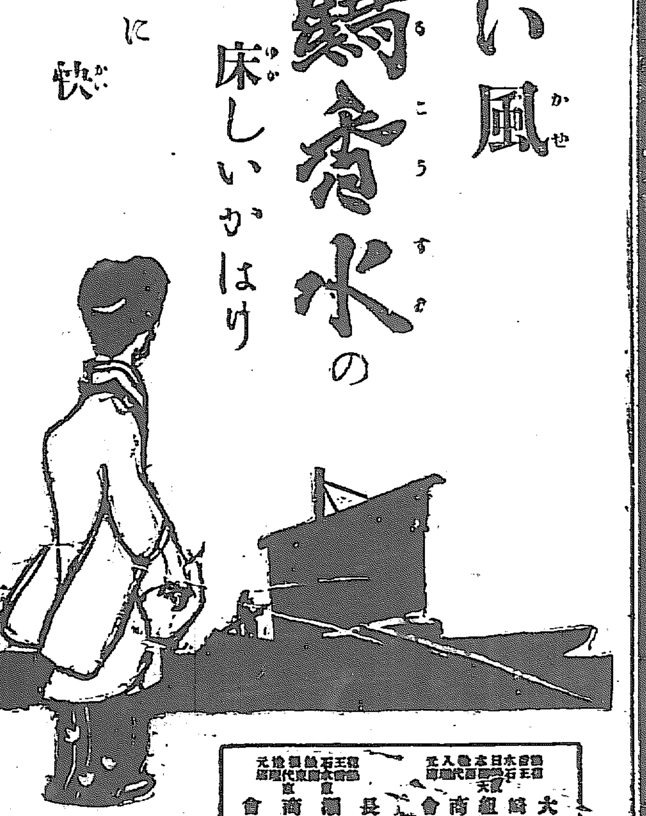
懷中時計(▲印はラジユーム入)
ニッケル側十八形 二、五〇 片蓋アンクル
同 三、五〇 同
同 四、五〇 同シリンダー
同 七、〇〇 同アンクル
同十七形 一、〇〇 同
同 一六、〇〇
同 一七、五〇
同 一二、〇〇
同 一五、〇〇
同 一八、〇〇
銀側▲十六形 一三、〇〇
▲十八形 一六、〇〇
十七形 一二、〇〇(日國)
▲十七形 一四、五〇
▲十八形 一五、五〇 兩蓋
十八形 一八、〇〇
金側 百圓以上二百五十圓迄
腕卷時計(▲印はラジユーム付)
ニッケル側十一形 四、五〇 片蓋シリンダー
同 七、三〇 同
同 七、六〇 同
同 一〇、〇〇 同アンクル
同 一八、五〇 同シリンダー
▲十四形 一九、五〇 同アンクル
▲十三形 一四、〇〇 同
同 六、〇〇 同
同 五、〇〇 兩蓋同

右は今回新著の商品にて本商會獨り之を有し他店に無き所のものにして御注文に對しては代金引換
小包便にて御送附申上候
地方遠隔の御方は郵便にて御注文の程願上候
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國直輸入商
イングレッツレー商會

=本劑の特色=
二博士御試證の本マーゲンは恐式胃病藥と異り其卓効は根本的に胃の機能を盛んにし消化を佳くし食慾を増し胃弱を治し著しく胃を輕快にす
大阪市東區上本町五丁目
田畑保藥房

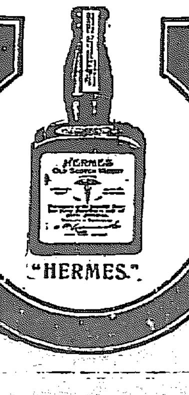
御料御園白粉

■普通の白粉から見ると、ノリ、ツキ、ノビが非常によく粧けて美くしく高尚な化粧榮のするのは御園白粉です。
■衛生上からも亦品質の點も一番有効無害な白粉は十數年間絶ず研究と改善を加て居る御料御園白粉です。
(285)



大阪本町三丁目 大島組商會
東京日本橋 長瀬商會

名聲斯界に赫々たる世界の名酒
ヘルメスウヰスキー
家庭用旅行用二種あり
本品は醸造後永年貯藏熟製したる香り口當りのよい逸品!!
大阪 祭原



淋病新藥 ツヨール
下山藥學博士、慶松藥學博士證明、田中醫學博士實驗、朝比奈藥學博士、岩川醫學博士鑑定
笠川醫學博士、加藤獨國醫學士、山田獨國醫學士實驗の結果理想的内服治淋劑と確定せる
●到處藥舖に販賣
發賣元 東京日本橋區川瀬石町 ツヨール商會
全國一手販賣 大阪道修町三丁目 田邊五兵衛
▲本品は殺菌力を有し且絶對に胃腸を害せず
■膀胱カタル尿道炎、睾丸炎、腎臓炎、消渇等其他一般急性慢性淋病に偉効を奏す。
三十粒入六十錢、五十粒入九十五錢
百粒入一圓八十錢、
▲説明書無料贈呈す

汽車
京釜 南大門發 龍山發 水原發 天安發 大田發
京義 南大門發 新義州發
湖南 大田發 木浦發
京元 南大門發 元山發
[illegible]

京城日報

第三版

八月二十五日
（夕刊と合せて八頁）

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十錢 前金（一ヶ月分以上前金に限る）
廣告料 五號活字一行金五拾錢 特別號活字一行金壹圓
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話編輯部二〇八番 營業部二五番 振替貯金口座京城三〇〇番
發行兼編輯人 奥田直一　印刷人 小川三之介

▲依然保合　大阪前止の殘りに十圓二十四錢と高く寄付一歩五錢と弱まりしが其他より資物多く今日に至り十四錢を押して一圓一厘に近れて小緩頭を繰り返し

▲目先小相場　同店の賣手三千餘石買手千餘石　此處强氣の賣人益々強まりて今後保合の變に

▲展開期末だし　大天災期に乘り出し來りたるの時に際し我期米界は强弱の勝加せん形勢にて近來の大阪組の一高一低に倣ひ小變動を繰り返し居るが何分にも時が時なる

後止 寄付 廿四日 十月限 九圓二十四錢 九圓十四錢

一萬四千五百石 四千三百五十石 十萬三千四百五十石

戰局如何

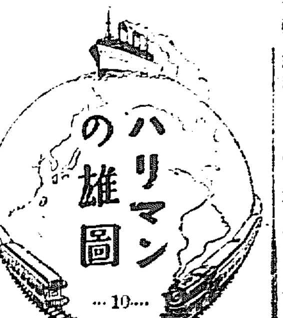
京城日報

今次西部戰線に於ける聯合軍の進擊は甚だ急なり。或は言ふ是れ夏季大攻勢計畫の起端を見めすものなりと。戰報に就て之を見るに、今日のフランダースの戰鬪は、昨年のソンムの戰鬪に比して一層激烈なるより推すときは、英軍の進勢の强大なるを明白にして、敵が何時まで之を防止し得べきかゞ問題たるに過ぎず。

今春以來、世間此戰役は夏秋の交を以て終結し、今年内に平和回復を見るべしと爲すもの多かりしも、今や全く其望なく、今後幾年繼續すべきかを知る能はざるに至れり。顧ふに今後の味方の主力は、第一に英國、第二に米國なり。英國の陸軍は昨年のソンムの戰鬪に於て初めて其實力を發揮したり。而して是れ實に開戰後廿三箇月を閲したるの時日と甚だ長かりし準備に費やしたるものにして、其を稱ふるときは、北米合衆國が百萬以上の陸軍を歐羅巴戰線に活動するまでには、猶ほ多くの時日を要すべきや論なし。是れ專門家が米軍の壯圖は、千九百十九年に至らざれば實現し得ずと爲す所以なり。大凡國際的大戰役は、交戰者皆其實力を盡くし終らざれば已むべからず。從て此大戰役は英米兩國が遺憾なく其實力を發揮して、思ふ存分の勝利を收めたるの後ならでは終結すべからず。

今日の交戰者固より故意に戰役の長引くを求めたるにはあらず。聯合國側には去る今春夏の交を以て最後の大決戰を敢行すべき意思はこれ有りたらんも、去三月露西亞革命あり、爾來露軍甚だ振はず、剩へ非併合非賠償などといふ架空問題にて、各國の社會黨勞働者を動かしたる事すら之れ有り、聯合軍の策動に多大の阻格を來したるは、今更蔽ふべからざる事實なり。然れども我味方の方針は、これが爲に些の變易する所なく、假令幾多の時日を要するも、戰爭の目的を達するにあらざれば已むべからず。最近英國首相ロイドジョージ氏の演説に就て之を見るも、首相は敢て刻下の西部戰線の大進擊を以て、決定的爭鬪なりとは爲さずして、却て明年に至らば、英國及び世界は初めて今日の勇氣の果實を得るに至るべきかを揚言せり。明年に至りて今日の果實を得、明後年に至りて明年の果實を收む、即ち是れ我味方の最後の勝利を收むるの行程なり。

最近講和運動甚だ盛にして、羅馬法皇の移牒の如きは頗る人心を動かすに足るもの有るに似たりと雖も、聯合國側は固より之を容るゝの理由なし。若し理窟を云はゞ法皇の移牒に相當の理由あるべく、社會黨勞働派亦自ら其主張を理由あるものと爲すべしと雖も、戰爭は理窟の交換に非ずして實力の爭鬪なり。交戰者の一方の實力全く盡くるか、或は又雙方の實力共に盡きて復た戰ふ能はざるに至らざれば、其爭鬪を已むべからず。戰爭は自由の爲め平等の爲め、將た民政の爲めなりといふの誤れることも、領土問題の爲め賠償問題の爲めなりといふも亦誤れり。戰爭の目的は唯一あり、曰く實力の爭鬪にて勝敗を決すると是れのみ。



△世界一周路 開設の計畫
△滿洲鐵道 買收の運動

◎雄圖遂に空し

ハリマン氏の希望通りに、

唐紹儀の渡米　總領事ストレイト氏は千九百八年九月に歸米した。彼は例の唐總督との間の二千萬弗借款に關する覺書を齎らして來た。該借款については優勢なるハリマン氏の助力もあり、且つはルート國務卿の協賛もあつたので、相談が早く運んで、クーン、レーブ會社が、借款の細目さへ總て滿足に取極められるならば之を引受けやうといふ事になつた。其の秋十一月には支那から唐紹儀自ら渡米して華盛頓政府を訪ふた。唐氏の米國行は、表面の目的は米國が匪亂賠償金の一部を免除した好意に對し、親しく大統領ルーズベルト氏に謝意を表し、清國政府を代表して謝意を表すると云ふのであつたが、實は滿洲銀行設立について借款の交渉取極といふのが主たる目的であつた。ハリマン氏を通じて此借款問題は餘程好都合に進捗したのであつたが、よく〳〵運が惡いと見えて、又もや豫想外の出來事の爲めに脆くも挫折するに至つた。

借款は立消え　元來唐紹儀が、當時羽振りのよかつたのは、其の友人袁世凱氏が後楯になつて居たからで、當時袁氏は外務部大臣の要職に在り、清廷の樞機を握つて居つた。而して袁は又滿洲の富源開發について、米國の資本を以てしたいと希望せる者の中で最も熱心なる一人であつた。然るに千九百八年十一月中旬、唐氏が米國に赴いて、借款に成功せんとし大に得意であつた矢先きに、清國皇帝と西太后とが相前後して崩御せられ、袁世凱にとつては頗る苦手であるところの醇親王が攝政となつた。袁氏が餘り幅を利かすのを豫てより大に嫌つて居た醇親王は、其の攝政となるや袁氏一派を排して事毎に其の爲來りの事を打ち毀したので、袁の勢力は遂に顚覆し、彼は數週間の後には其地位を失ふに至つた。袁の失脚は唐紹儀にとりては大打擊であつて、彼は其の後援を失ひ、全く意氣沮喪して爲す所を知らず、折角の借款問題も其儘立消えに歸して了つた。

死して餘多し　併しハリマンと云ふ人は、そんな事で失望する男ではなかつた。彼れは依然として其の遠大の計畫を固持し、尚ほ執拗に日露兩國に向つて滿洲鐵道問題の交渉を繼續した。千九百九年の夏、豫て彼れが鐵道問題につき相談を持掛けて居つた露國外務大臣ココフツォフ氏から『自分は將に極東視察に赴かんとするのであるが、行つて來た上で東清鐵道の賣却について米國資本家の爲めに盡力しやう』との約束を得たので、彼は不尠喜んだのであつた。尤も此時はハリマン氏は不治の病に罹されて居つた。露國外相が此の約束を與へたといふ事は、ハリマンにとり正に一部の成功であつた。さりながら、悲しい哉、福音の來る事は、遲過ぎた。彼れの露國行が緒に就かうとする九月九日、彼は雄志を抱いて長眠に就いたのであつた。雄圖は彼と共に滅し、復た米國に彼れが如き、世界一周通路開設といふ如き大事業を試みやうとする者を見る由もなかつた。

光輝ある失敗　若しも、ハリマンに假すに何ほ餘命を以てせば、彼れ自ら遂に其の建設的偉業を完成するを得たであらうか如何かは、今茲に推斷の限りではないが、果して其の成功を見たりとせば、其結果は世界の歴史に深甚の影響を與へたであらうと思ふ。「不休の努力」此の一語がハリマンが奮闘史の全ページを蔽ふものである。「最終の目的を確定して置いて、而して何でも行つて見る」と云ふ彼れの本領が如何に此の波瀾多き滿洲鐵道經營問題の上に強く其の影を印して居るかを、讀者は觀取するであらう。彼れは元來米國内に於て鐵道事業を經營するに當り、單に建設者としての立場より諸種の問題を考へた。即ち主として、貨客の供給について可能性を有する地方の開發といふ事、乃至は既に物資を交易しつゝある社會を結び付けると云ふ事が、其の鐵道建設の大趣意であつた。然るに彼れが亞細亞に手を出して、極東の鐵道の問題を取扱ふに當りては、彼は從前の經濟上の考慮の範圍以外に、別に政治的見所と對立せねばならなかつた。政治上の關係より鐵道問題が生じた少くとも最初は政治的利害に支配されざるを得なかつた。其處に失敗の原因も潜在して居つたのである。さり乍ら、此の失敗そのものが、決して彼れハリマンの偉大なる抱負を小さくし、或は又其の死後に於て遺されたる彼れの勢力を毀損するもので無い事は、確かである。

往來園雅集（四）

大正丁巳八月蓄堂詩伯自支那還京城同人開筵於往來園次韻述懷　金陵　大垣丈夫

孤舟東渡十三年。一片微衷不愧天。懷裏功名藏世界。眼中富貴過雲烟。由來征戰非吾事。畢竟爲流茹普賢。誰識千秋兄弟誼。扶桑槿域匝無邊。

蓄堂曰　而叙胸中懷抱、可謂自傳。

子二首　金陵　大垣丈夫

嵐翠滿庭涼氣新。披襟閑詠見精神。當筵莫道豎言語。元是同文同調人。

蓄堂曰　句無修飾、天眞爛熳。

其二

松風嫋々夕陽微。翠滴林梢涼透衣。珍重名園文字飲。一天星斗醉忘歸。

蓄堂曰　涼氣滿身、吟誦之下、忽覺爽快。

往來園雅集酒間賦呈蓄堂先生　成田碩内

生平傾倒古之狂。萍水相逢韻事揚。有腕餘酒醉陶陶。…亦不老之法乎。

蓄堂曰　仙藥何渦、亦不老之法乎、同席上大無佛居士副呈蓄堂

同　入

詩伯風吹流嫌公生。一夜梧桐秋色分。涼入郊墟初退。淺城天地氣氤氳。

蓄堂曰　新涼入樹、燈火可親。

往來園酒間偶枝書明歌賦與　結城　蓄室

青松落盡白雲多。東海詞人醉酒過。不是室…衣面。天風吹下步虚歌。

酬…次蓄堂先生韻　石雲　鄕　榮英

詩多遊騷氣。到處英雄且過今。日騎鯨楊…。…歸吟歌。

蓄堂曰　逸氣吟。何必論巧拙。

同題　金　圭鎭

天下周遊壯觀多。廣山千似出黄河先生匹馬歸來日。郡市秋風一放歌。

蓄堂曰　規模雄大、朗吟稱快。

往來園雅集背上賦似諸君

晩歸　鶴田樂村　在奉天

誰（47）

布施生譯

そう言ふ間も鈴富は次郎太踏んで『はゝあ、してみると之が美那子の手紙にあつた秘密だな、』榮さんは八島と交情があるんだ、八島の奴等さんを盜みやがつたんだ、それとも知らず己は二人を信頼にして何事でも二人に相談した、唯二人は内密で手を拍て笑つたらうな、あゝ口惜しい、しかももう今日で笑はれるのもお仕舞だ、己れどうするか見ろ。』面想を一て驅出そうとするのを老人は拇まへた『おつと何處へ行く。』『二階へ上ります。』『打棄ておいて下さい、彼奴等の前へ往つて思切り言つてやるんです、そして死ぬんです、もう誰が何と言つたつて思止りませんよ。』鈴富は死物狂であつた、狂人力を出して戸を打破らうと焦燥つたが、しかし露國老人の腕力はまた驚くべきものであつた、鈴に似合はず何處までも力のあるのか分らない、流石に猛つた鈴富も老人にくつと腕の附根を摑まれては最早振離す事も出來なかつた、老人は小さい聲に力をいれて『靜にしたまへ、聲をたてたり、碍をさせたりしたら、君の目的は駄目になるぢやないか。』『僕はもう目的も無いんです、希望も何もありません。』『八島は君逃げて仕舞ふせすると君の濡衣は千年經つても干せないぢやないか。』『濡衣なんかもう如何でも可いんです。』『そんな棄鉢を言ふものぢやない、君は介意はんでも僕が承知せんのぢや、君はまだ齡が若いから戀人は之からでも出來るだらう、しかし一旦失つた名譽は永久に歸つて來ませんぞ。』『いくら言つて聽かせても鈴富はもう耳に入れず『復讐するんだ、怨を晴らすんだ。』と言續けるだけであつた、其馬鹿强情には流石の老人も持餘して『よし復讐したまへ、しかし大人らしく復讐するんだよ、小兒のやうなら舍諸たまへ。』突離し氣味に言はれて鈴富は憤然と『馬鹿にしますね。』『馬鹿にするんぢやない、君のする事は宛然小兒ぢやないか、君は如何する心算かい、八島と組打する間に榮さんは逃げて仕舞ふせ。』鈴富は少し困つた『力があつた處でつまらん話しにしてれば政府の手で絞首臺に上るのが落ぢやないか。』『二階へ上ろ〳〵と云ふが上つてから如何するんぢや、』『ぢや如何しましやう。』と折れた處を見計らつて老人は透さず『待つのぢや、少し待てば私が立派に復讐のお膳立をしてあげますぢや。』鈴富は何と言返す言葉も出ない、盜つてゐる間に今迄狂氣のやうに猛つてゐた決心も溢つた、老人は愈々透さず『それに君は無暗に榮さんの事を怒るが、榮さんが如何いふ理由で此處へ來てゐるのか、それも分らんぢやないか、榮さんが一身を犧牲にしてゐる事は君にも異議が無かつたやうぢや、榮さんが今夜此處へ來てゐるのはあの孃さんが泣々君と切れたのと同じ原因ぢやらうと思ふがね。』

婦女界九月號

本日出來

夫婦間の理解と秘密……鳩山春子
明治卅八年の日記より……棚橋絢子
幸福を求むるの道……都河圭韓
新しい食物に關する研究……澤村博士
病人に喜ばれる食物の研究……井村夫人
神經衰弱の根本的治療法……前田博士
愛兒の病氣の際の看護の經驗……富代子
右の記事に對する詳細なる批評と注意……吉田學士

藥草藥木と民間療法に關する經驗
次の十篇は藥草、藥木の其の用法、使用法及び之が藥效の實驗を詳細に記し、住所氏名を明記したる民間療法なれば、直ちに皆様のお役に立つ記事ばかりです。
自家用と收益を兼ねた藥用サフラン……黒田松子
非常に効果ある膀胱加答兒の妙藥……名無草
下痢一切に奇効を奏する現の證據……原田定
リウマチスを根治する家傳の秘藥……西田千代
癪と痔の妙藥……木原都子
不思議に毒を消すハブ草……三上房子
肺病に奇効のあつた蒜……山本民子
心臟病に特効あるヂキタリスの葉……木下初子
黄疸には蜆貝が妙藥……

主婦の讀物
系の要らない中形の絞染法……小栗還次
衣類整理に關する問と答……宮本衛平
簡單な改良服と洋服……宮崎祭子
洋服和服兩用の新形前掛……津田敏子
家庭の常識禮法問答……鹿嶋誠造
西洋の惣菜料理九種……三井まき子
季節に適つた西洋料理の作り方（今月から用意せよ）……市岡鶴子
手輕で經濟な洋料理……服部茂一
負債に苦しむ郵便局員の家計……あやめ
案外氣樂な鑛山坑夫の家計……松ヶ枝

□本誌獨特 心の華……小山內薫作 石井…
□本誌新案 挿繪小說 世間……柳川春葉作
□本誌小說 龜子福助……岡本一平畫

家庭小說

▲他では見られぬ面白い小說、今月から急に大波瀾。

本誌は値上げをせず　一冊十七錢稅一錢　半年分一圓十三錢　一年分二圓十五錢

東京牛込加賀町　婦女界社　振替一二〇八三番

娛樂世界 九月號

本號には四十七士の實録に左衞門を始め小さんの寢床○馬琴の名拾日本號○如燕の丸橋忠彌○貞水の三年倉廩栗○金馬の夏の勝者○典山の仙石騷動小倉修理○さん馬の猪買○伯山の勢力富五郎等一流名人の講談落語を掲載し小說では綺堂の石像の秘密○露山の水の流る佳境に入り其他寫眞小說○活動寫眞○雜錄等全部傑作數篇○又本號獨特の大懸賞、十萬年後の大募集あり

正價金廿五錢 郵税二錢　東京日本橋區 娛樂世界社

謹告

四圍山を以てせる我が忠清北道の富源開發には唯一の交通路たる忠北縱貫線に先づ鐵軌を敷設せしむるの外又策なし、宿志十年忠北縱貫鐵道敷設の急を叫び昨春之が目的貫徹の捷徑として期成同盟會を組織して茲に一年有半願望漸く遂げられて我が忠北縱貫鐵道の敷設は朝鮮輕便鐵道會社に依つて實現せらるゝ事となりぬ茲に久しく御芳情且御指導を賜はりたる內鮮官民の先覺各位に對し滿腔の敬意を以て感謝す

八月十八日
忠北清州　忠北縱貫鐵道期成同盟會長　松木彬

鐵道が今からつく忠北の天地は遺利尠なからず特に首都清州は資本家の投資に待つ事業多く有之と存じ候

新築落成

新築中日の出町へ假營業の處愈々落成し從前の通り營業開始特別大勉强を以て御用命に應ず可く候間何卒倍舊の御引立の程偏に奉願上候

京城本町三丁目一〇二（元日の丸前）
各國時計類 貴金屬製品 眼鏡類販賣並に修理所
市川時計店
電話一一〇五番

鑛區買入

銅鐵鉛亞鉛鑛 鑛區買入致候
但許可權先願權及新發見共
右希望者は直接御申込相成度候
京城旭町一丁目電話九五五
三友鑛業事務所

試金用各種 坩堝販賣　白上商店

一石炭（切込炭）
右購買ス詳細ハ八月二十五日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
大正六年八月廿五日
朝鮮總督府

眼鏡製作

今般眼鏡製作工所開設仕り候に付ては從前よりも層一層急速及價格低廉を以て御用命に應じ申す可く候間御引立の程願上候

米國製金張玉付
九金細ズル 六、五〇〇
九金新線ナワ一匁三分 八、〇〇〇
十四金同一匁五分 七、九〇〇
十八金同一匁八分 二、〇〇〇
二十金同一匁 二、九〇〇
二十二金同 九、六〇〇
十八金線ナシ玉付 甲 三、五〇〇
乙 三、〇〇〇
丙 二、五〇〇

眼鏡各種
銀線 一圓卅錢以上 二圓五十錢迄
赤銅 八十錢以上 二圓五十錢迄
赤金次分 一圓同 五圓迄
赤銅金穴明 一圓五十錢同 五十錢迄
鐵、ニッケル、硝石用 六十錢より二圓五十錢迄
植物用 一圓より三圓迄
獨乙玉 一圓五十錢より二圓五十錢迄
メニスカス玉 一圓まで
クリ山玉 十錢以上
サックス
各地方より御注文の節は代金引替にて直に御送附申上可候
京城本町一丁目（郵便局前）
中村メガネヤ
電話千百十七番 振替京城三四六番

來る九月三日午後三時左記土地建家共競賣致候間御希望者はカウアノー商店に於て御入札被下度候
一、所在地 京城太平町武丁目（朝鮮ホテル近傍）東亞煙草會社並に同工場北隣（長谷川町交叉點）
一、坪數 二百武拾六坪
一、建家 武坪數全部建家
一、進築に要したる費用（大正二年建築に因る煉瓦造）金四萬武千五百圓
一、目下家賃收入豫定（土地、家屋共）年額武千七百圓
尚詳細は當店に付御問合せ被下度候
京城太平町武丁目
カウアノー商店

◎共樂社遊船部
龍山漢江畔 電話五二八番
本社の遊船は料金安價にして新造屋形船なり

▲靑竹卸小賣（販賣）
龍山元町三六番地
富山竹材店

◎法王の自發的提議

講和は吾人の促がせるものに非ず 獨宰相の議會委員會に於ける演說

獨逸宰相の獨逸議會委員會に於ける演說要領左の如し(倫敦電報)

(一)敵は吾人の平和提議を拒絕しだるを以て吾人は再び是を提議する能はずと決定し居りし際羅馬法王より公文書來れり(二)公文書は法王の自發的提案にして吾人の促がせるものに非ず(三)吾人は同情を以て法王の盡力を迎ふ(四)回答に關しては同盟諸國と目下協議中なり(五)公文書の細目に就きては未だ立入る能はざるも回答發送前更に委員會と接觸を保つべし

◎芬蘭益す形勢不穩

政治的要求を本國政府に電送す

芬蘭の暴動は最初は食糧問題のみに止まりしも政府が要求を容れたる爲め益々增長し昨今露國人と露國軍隊の撤退を要求し更に政治的色彩を帶び來り任意に兵力を使用する權限を與ふることと及び議會を解散せしむること等を決議し長文の宣言書を露國政府に電送せり(露都電報)

◎莫斯科の軍紀頽廢

莫斯科に於ける軍隊の軍紀頽廢は殆んど其の極に達し車馬掠奪、強盜、賭博、無錢飲食等連日到る所に行はれ動もすれば軍司令官に反抗せんとするものあり、ケレンスキー首相は廿五日に於ける國民大會の終了と共に軍紀の振肅を期すべくペテログラアドより鎭衛兵を派遣せしむる事となしたり(露都電報)

◎唐督軍段內閣排斥

雲南督軍唐繼堯氏は同省公報を以て北京政府の大總統令は不法なる段內閣に據るものなるを以て是を認めざる旨宣言せり並は唐督軍が曾て段內閣反對を聲明せるを更に敷衍せるものにして段內閣は飽くまで排斥すべきも馮大總統は必ずしも認めざるものに非ずと云へるが是れ馮氏と裏面に於て一條の脈絡あるものと觀測せらる(北京特電)

◎沒收墺國汽船賃貸

支那政府にて沒收せし墺國汽船三隻は總計三百萬圓なるが毎月一噸當二十圓にて張謇氏の經營する汽船會社に賃貸する事に決定し上海の海軍司令部は二十二日政府より引渡方の訓電に接せり(上海特電)

◎米鐵材輸出と用途

米國にては鐵材輸出特許證下附出願の際出願人は其の貨物が戰爭の目的又は是れに直接關係すべき事業に使用さるゝものに限し貨物仕向地政府代表者の裏書を要する事となりたり(紐育電報)

◎講和案並に重要案協議

臨時外交調査會開會

臨時外交調査會は二十四日午前九時三十分首相官邸に於て開會し原敬氏缺席の外各委員幹事出席本野外相より羅馬法王の提議に係る講和案の報告及び聯合各國の態度に關する說明あり後我が國より同法王廳及び聯合各國に對する回答案に就き熟議する所あり次で支那問題及び米國鐵禁輸問題の善後策等に關する協議をなし正午、午餐を共にし午後一時十五分散會せり(東京特電)

◎奉天より

▲奉天の企業熱 所謂大奉天の反響なるか將又滿鐵聯合の結果かは分明ならざるも近來奉天に於ける企業熱頓に勃興し來り先づ市場會社が五萬圓の小資本より一躍して三十萬圓となり來る二十七日を以て第一回の拂込の終了を告ぐるべきを始めとし大連の向井氏等の發起にて百萬圓の皮革株式會社も創立されんとし其他在來の化學工業會社も亦五萬圓より五十萬圓に增資せんとて目下重役等頻りに奔走中なるが外に久原鑛業の此地に事務所を設けて東三省及び西比利亞一帶に亙りて鑛山を漁るあり更に石本鏆太郎氏相生由太郎氏等の手を延ばさんとし若くは延ばしつゝあり森上卯平氏の東洋拓殖の支店を設置するあり近くは又東洋拓殖が出張店せんとするあり加ふるに近來道商企業熱の勃興に伴れ續々多數の邦人入り込み前月來建築されたる二百餘戶の住宅及び店舖用家屋は悉く豫約となれる仕末にて過般の火災にて燒失せる驛前ビルデング居住者等も今備居住の決定せざるもの稀なる狀態也

▲黑龍省問題 去る十三日就任式を擧行したる鮑新黑龍督軍は其後愈は軍事會議を開きて政潮緩和の方法に就きて協議したる結果許蘭洲は愈師長の本位に回へり許氏に代り一時師長に任じたる任旅長は再び元の旅長に復し之れにて飽迄許氏に反抗せたる英、巴兩旅長も滿足を表し黑省風潮は漸く平定の緒に就きたるを以て前に段總理より實情視察の爲め同地に派遣したる羅、楊兩武官も已に歸京したり鮑督軍の直接隨員は僅に三十餘名に過ぎざるも其間接なるものは百五六十人の多きに達し爲めに省城旅館は滿員の姿にて彼等は皆獵官を目的とする者なれば近く政界の变動を見るなる可しと

觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○流石のロイド、ジョージの人材內閣も、其の人材の出來榮が、餘りに香しからざる爲め、往々世間の失望を招きつゝあるが如し。併し是れ寧ろ當然の事にあらざるなき乎。

○如何に大會社の社長、支配人等が、其の受持の役目に堪能なればとて、彼等を廟堂の大臣たらしめん乎。其の周圍の境遇は、彼等をして到底意の如く、其の手腕を揮はしむる能はざらしむる也。

○倫敦「スペクテータア」雜誌は、左の意味にて、其の理由を說明せり。

天下を統御するの技術は、他の技術の如く、豫習を要す。ピット、ピール、乃至虞翁、徵伯の徒、皆な當初より一身を、國家の大務に投沒し、他を顧みるに遑あらざりしもの也。徒らに金錢を贏ることが上手なればとて、其の徒輩を擧げて、國家經綸の位置に据うるは、大なる見當違也。

○古人曰く、耕を問はゞ奴に、織を問はゞ婢にと。政治も亦た然り。されど政治家たらんには、亦た一種の教養、修練を要す。吾人は人材拔擢を悅ぶ、特に破格の拔擢を悅ぶ。されど此れと同時に、政治のみか、自餘の業務以外に、何等の豫習を要せずとの謬見に、與みする能はず。

▲遼河出水減退

遼河大出水の爲め鄭家屯を中心とする百里四方の地は過日來全く水中に浸沒し實に三十年來無き處の慘情を現はしたるに目下該地方一帶に減水し居民皆安堵したるも何分食ふべき食料皆無なるを以て支那官憲に於ては極力救恤中なり

◎琿春貿易狀況

大正五年に於ける琿春貿易總額は六十九萬九千二百五十五兩(海關兩)にして前年の六十二萬二千三百四十兩に比し約一割一分を增加したり而して其直接外國より又は支那各地を經て輸入せるものは四十二萬九千五百二十七兩にして前年の三十萬二千六百六十一兩に比し十二萬六千八百六十六兩を增加せるが右の內浦鹽及ポセットより輸入せしもの七萬三千六百一兩朝鮮より輸入せしもの十四萬七十七兩にして他の一萬五千八百四十九兩は支那內地各方面より輸入せるものとす前年に於ける浦鹽及び朝鮮よりの輸入貨物を見るに前者は七萬九千五百三十一兩後者は二十一萬九千七百十一兩にして之れを大正五年に比ぶる時は一は五千九百三十兩を減じ一は十二萬三百六十六兩を增加せり

▲此減少の主因は 露國に於ける金屬、牛皮、麥粉、綿布類の輸出禁止にありと雖も從來露國を通過せし貨物が朝鮮を通過するに至りたると同時に右方面の減少に反對して一方朝鮮よりの輸入の增加したるも確に一原因たり更に之れを國別とする時は本邦貨物は二十一萬三千四百九兩露國貨物は五萬七千百八十四兩米國貨物は二萬五千五百二十九兩英國貨物は一萬七千五百六十兩他の一萬五千八百四十九兩は吉林省城及び內地各方面より輸入せる外國貨物なりとす倘五年中輸入量の最も多かりし外國品は雜細物の四十四萬一千四百八十七碼、次に米油の三萬一千八百廿ガロン、シーチングの二萬二千九百五十八反等なりと(琿春)

◎浦鹽航路近況

浦鹽航路は目下北滿大豆其他の復航貨物多く大豆運賃の如き一擔八十錢を唱へたるも露國爲替取組禁止並に同國向軍需品の減少に伴ひ往航貨物頓に減少し爲めに郵船會社にては過般定期船二隻中より和歌浦丸を引拔き現在は立神丸一隻を就航せしめつゝあるが之に連れて同航路の航海日數を節約せんが爲め從來の寄港地より元山及び淸津の二港を除外せしと因に敦浦間聯絡の露國義勇艦隊汽船は軍需品輸送の爲め定期聯絡不可能なるより今後浦鹽經由東淸鐵道及西伯利亞鐵道へ聯絡する旅客は總て大阪商船の聯絡船に依る事となれり

◎麻襤褸移出有望

近時麻襤褸の製紙原料として朝鮮より大阪地方へ移出せらるゝもの漸次增加し來りたるが昨年までは是等の移出殆んど皆無の狀態なりしに本年偶々僅少の移出を爲して以來其の成績良好なりし結果昨今郵便道便に依る該地方に搬出するもの益々多く一日平均三噸以上に達しつゝありと

◎金融組合狀況(京畿)

京畿道內二十三組合の七月末現在調査に係る狀況を聞くに組合員數九千二百八十三人にして其資產及び負債の內譯左の如し

▲資產の部 合計五十五萬七千零八十六圓八十八錢四厘內譯▲拂込未濟出資金七萬三千四百五十五圓十九錢▲貸付金廿七萬三千七百十五圓六十七錢▲委託販賣前渡金及び共同購入金百七十六圓拾錢▲土地建物其他所有物四萬四千百五圓五十七錢五厘▲農工銀行代理及び媒介貸付二萬七千二百六十二圓八十三錢九厘▲預勘定一千百七十二圓三十七錢五厘▲預ケ金十萬四千二百九十四圓四十八錢▲現金一千四百八十八圓六十九錢五厘▲損失金二萬九百廿五圓九十六錢▲純損金二百六十六圓七十一錢五厘

▲負債の部 合計五十五萬七千八十六圓八十八錢四厘內譯▲出資金十萬八千圓▲政府下附三十萬八千七百二十圓▲缺損補塡準備金五萬四千八百二十一圓十錢▲特別準備金五千百二十圓▲借入金四萬八百八十八圓六十四錢五厘▲預り金五萬六千七百八十八圓六十九錢▲委託販賣金及び共同購入前受金六圓五十二錢▲朝鮮銀行代理金三百三十一圓二十五錢五厘▲農工銀行貯蓄預金無し▲雜勘定二萬八千三百七十圓九十六錢九厘▲利益金三萬○九百五十九圓六十錢五厘▲純益金一萬三百四圓三十六錢

因みに之を前月に對比すれば組合員數に於て千八百八十三人を增加し現金に於て五萬七千六百六十圓九十八錢五厘の增加を示せり

◎穀物貿易商大會

昨年三月仁川商業會議所に於て發會せし朝鮮穀物貿易商大會は每年一回開催すべく協定せしが本年は其第二回大會を京城商業會議所主催となり九月中旬(多分十五、六の兩日)開會すべく出席者約五十名の豫定にして穀物取引に關する諸件を協議すべし因に內地、大阪、神戶、名古屋等の朝鮮穀物貿易に直接關係ある人々を招待する由

◎生牛廻送增加

釜山移出生牛は大停濟の爲め昨今木浦港へ廻送移出するもの增加し本月に入り二十二日まで五百八十五頭に達したるが同日まで同地奧筋より到着したるもの三百八十一頭にして合計九百六十六頭を移出したり

◎全北五年產米移出狀況

全州

全北に於ける五年度產米の移出狀況を聞くに同年度產米移出は十一月に始まり十二月及び一月二月の交に最盛期を示し三月に至り漸次減少し四月以後に於て愈々減少を見たるが收穫時期より米價割高を保持せる爲め例年より移出米多額に上り爲めに糧米缺乏を來し六七月に入りて玄米逆移入を見るに至れり、尙ほ昨今にありては大地主間に多少の殘存米あるも之れとて移出する程の多額に非ず

◎黑板博士入京

文學博士黑板勝美氏は二十四日午後八時五十分着列車にて平壤より入京京城ホテルに投宿せり

人事消息

▲諸戶賣六氏(三重縣富豪) 二十四日夜入京天眞樓へ
▲丹羽海鶴氏(書家) 二十四日夜再び歸京京城ホテルへ
▲福田九一郎氏(鐵業) 同上浦尾へ
▲小倉鐵三氏(鐵業) 二十四日夜退京
▲金剛山觀光團(南滿鐵主催二十名) 同上
▲織田信昭氏(神戶鈴木商店員)▲磯部房信氏同上二十四日入京天眞樓へ
▲鳥坂繁造氏(明治生命保險社員) 二十四日入京眞金旅館へ
▲高辻眞太郎氏(久原鑛業甲山出張所員) 二十四日夜入京天眞樓へ

■百聞百種■

ロビンソン物語に似た面白い記錄が今度ストックホルムの記錄局から發表せられた▲此物語の主人公は瑞典の貴族で名をペツテル、スペレッツと呼び▲千五百九十年の生れであるから眞物のロビンソンよりも百年も昔の事である▲青年の時故鄕を出で西班牙船に乘って西印度に航し▲海軍少佐になって今度は單獨で船を指揮して中部亞米利加からマニラに向ふ途中▲颶風に遭って漂流中船中惡疫流行で乘組二百八十人中スペレッツと水夫二名と水兵二名▲其から十八歲になる船主の娘と廿二歲になる水先案內の女房と僅か七名殘った▲其中又颶風に遭って船は無人島に打上げられたが▲用意の食糧が澤山だったから安樂に暮して居た▲月日が經つ內二名の水兵と二名の水夫は死んで仕舞ってスペレツと女二人が殘った▲子供が次第に增ゑて來て卅餘年の後には四十二名の人口を得た▲スペレツは男の子には其な神學や鍛冶の術や手細工を敎へ▲女の子には紡織の法を敎へ四十年の後には人口二百三十名になった▲千六百九十四年に英國船がたまたま此の島を發見し▲スペレツの手記をストツクホルムに持ち歸ったが▲今迄深く秘せられて居たのを今度發表したとの事だ▲珍らしくて面白い罪のない漂流記ではないか。

山林果樹害蟲驅除劑 シーエス液 蚜蟲類及蚯蚓類には百倍乃至百五十倍にて 原液壹瓶三十錢 送料十二錢 カタログ御申込次第送呈す 京城旭町一丁目電話一〇七八番 同元町一丁目電話四二四番 山田商店

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版 最も熟練せる技術を以て最も迅速と叮嚀を旨とし御高需に可應候 京城日報社寫眞製版部

京日案內 普通 一回前金五十錢 番外 一回前金 ▲申込後中途廢止の節は前金返戻せず ▲六回以上の前申込は特に割引す ▲御照會の節は返信料御添付あらされば回答せず ▲御記入の番號は必ず數字の番號を記入のこと

信用絕大 古本と古樂器高價買受 評定確實 本町 ウツボヤ書店 電二三七 振二三三 394

●店員入用 十七歲より廿五歲迄品行方正なる者 (電三〇二三) 龍山元町一 龍山丸三酒場 473

●見習看護婦至急入用 希望者本人來談 龍山元町一 電話二〇四番 後野醫院 467

●小僧君入用 十三歲以上十八歲迄 最初給付月給六圓以上本人來談あれ 本町二 松菊屋小間物店

●店員入用 廿歲位身體壯健市內保證人有者本人來談あれ 京城本町二 丸一雜貨部 電一〇九一

●賣宅地 左記所在六百餘坪(課稅地價九百餘圓)賣價坪一圓分割不苦 西大門外獨立門內東光社裏 丸山

■齒科治療臺一臺及インジン二臺中古賣却 飯塚齒科醫院 461

割烹講習會 八月廿六日廿七日午前八時より十一時迄 場所 私立京城女子技藝學校內にて 會費金一圓五十錢(材料費共) 帝國割烹女學院主 馬場秀吉 472

土地割安賣却 坪數七百坪 一坪 場所 京城三坂通二番地但練兵場上 京城西大門驛前 伊藤鐵工所 464

●ほねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 342

恩給 五年分迄無保險 年利一割 現金立替 利子後引 京城南大門外(舊)御成町 電話二六八八番 山口屋 367

魔法瓶及魔法瓶 中瓶取替 京城本町一丁目 電話一三四番 高木旅行用具店 379

恩給年金立替 利子格安 卽時取引 短期無保險 京城若草町一七 電話二三九一番 (金光教裏手) 國江商會 403

○內科○小兒科 京城明治町 電話一五〇四番 女醫 川崎朋子 406

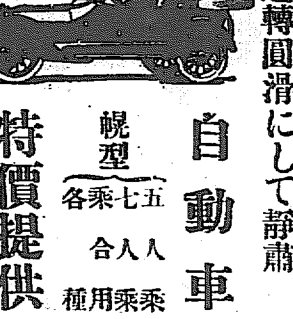
移轉 小兒科內科 呼吸器 胃腸病 南大門通農工銀行前 電話一四六二番 若槻醫院 408

恩給年金立替 何年分でも特別御便利に卽時御相談可致候 一月利一分 京城若草町一百六 電話三〇一番 西村商會 438

鑛物定量分拆 明治町二丁目 本町一丁目 江戶川橫入 電話二七六(電話二七七二番) 田部分拆所 459

東京工科學校 電工、機械、採鑛、建築、土木、冶金 各科 一二三期 及電工高等科 生徒募集 一期小學卒業二期中學三年修業程度三期中學校卒業程度の者 無試驗編入 新學期九月六日 願書締切九月五日 規則書郵券二錢 東京神田錦町 振替東京三七一五番

京城高等普通學校敎諭阪上綱吉先生著 朝鮮諸官廳受驗必讀 法律講義 定價八十錢 特價七十五錢 郵稅六錢 本書が各種官廳の採用試驗に應ぜんとする人の爲に各法律を簡明に敍述し直に採つて以て答案を作るなし得べきやう講義したる好著なることは本書を刊行以後に於ける筆記試驗問題が皆本書中に擧げられ居るにても知らるべし之れ本書の姉妹篇法律問答の口述試驗準備書たると相俟つて受驗者に必要缺くべからざる所以なり敢て月桂冠を得んとする人の座右に一本を薦む 賣捌所 京城太平町一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

一九一七年式

歐洲戰亂以來各種自動車は値上又値上を告ぐる折柄又も更に値上を實行の已むなき場合となれり、然るに本商會には戰亂前契約註文の自動車數百臺最近入荷せり此際三百臺を限り破格直段を以て御高需に應ぜんとす 機械堅牢運轉圓滑にして靜肅
自動車 幌型 五人乘 七人乘 各種 乘用 特價提供
ビック號自動車東洋總代理店 東京丸の內 梁瀨商會東京本店 電話本局(特長三七七八、三七七九、四八八三、四八八四、四八八五、二七七二、五三九六、五三五七)
大阪市梅田 梁瀨商會大阪支店 電話北特長一五七、一七二七
福岡市博多 梁瀨商會博多出張所 電話特長一四七二

あらゆる虫蟲退治には 田澤はいとり粉 ●諸官署實驗有効證明● 添付の撒布器から霧の如く撒粉して心持よく蟲は勿論何んな害蟲も退治せしむる貴重なる驅虫粉なり 室內の虫 蚤、蚊、蟎、油虫、南京虫等 植物の虫 果樹、桐類、蔬菜、草花の虫、桑木其他農作物の害虫 動物の虫 牛馬の蝨、蛇、羽虫、だに、毛虱等 人畜植物無害 定價 十五錢 四十五錢 一圓 二圓 標用 卅五錢 一圓十錢 (各藥店にあり) 東京本町三 里村商店

內科 小兒科(胃腸病) 外科 婦人科(內臟外科) 皮膚花柳病科 京城本町五丁目(稻荷座前) 電話二〇一二番 大和病院 院長 醫學士 齋□勇 副院長 醫士 竹葉善松

忌中 大日本麥酒株式會社京城出張所 吉田勝次郎 大正六年八月廿四日

◉新羅の舊都に遊ぶ（四）

雁鴨池は水族館か……遊子の耳にさへありく\と……月城と氷庫

五道踏破旅行記者 李光洙

◇雁鴨池に於て今一つ思出さるゝは臨海殿内に動物園ありきと傳らるゝことに候。波斯印度邊りより、珍禽怪獸を運び來りて、臨海殿内の園圃に置きたりと三國史は語る。數町に亙れる月城を築き、雁鴨の池を造る

◇雁鴨池（文武王宮内の庭池）

位なれば、さもありなんと首肯かれ候。殊に佛宇及び王陵に於ける石獅子は、寫生にあらざれば迚も斯くまでに眞に逼ること能はずとは、具眼者の一致せる評なるを見るも、西域より象獅子等の所謂珍禽怪獸を運び來りきと云ふは眞に近かるが如く候。さらば雁鴨池は水族館の如きものか。◇已に珍禽怪獸を運び來る、熱帶地方の奇花瑶草をも同時に運び來りて數寄を凝らしたる臨海殿内雁鴨池畔の巫山十二峰に、四季折々の紅白綠爛たりしやも知るべからず。數百日の航海を續けたる西域邊りの船が、珍禽怪獸と奇花瑶草と、恐らくは華麗なる西方亞細亞の織物と、又恐らくは印度西藏邊りの佛像とを滿載して、異帆片帆に恐らくは數十艘の船が一列縱隊をなして、兄山浦より兄山江を溯り、半月城西蚊川の月精橋邊さして悠々と入り來りし時、畏き邊りを始め瀋朝の百官は云はずもがな花の都の百萬の人民は？我先きにと蚊川の邊りに集び來りて、彼珍しや其美しさとさゞめき合ひしなるべし。異國の空に於て、故國戀ふる獅子の咆哮の勇みし空氣の波動を彼の山は知る川は知る、而して九層の塔も雁鴨の池も知るなり。一千年後夕陽に立てる遊子の耳にさへ、ありく\と聞ゆる心地は致候ものを、無残や時は凡てを破壞し終んぬ。文武王陵に蹲まれる四匹の獅子が、當時の咆哮の主の記念にして、雁鴨池中に映れる巫山十二峰の影こそ文武王が姿にて候へ。

◇再南する數町、名も知れぬ散亂たる礎礎の間を縫ひて月城に入る。蜿蜒として數町に亙れる土城なり、土城と云はんより連山と申す方適當たるべし、蚊川が弦となり城が弧となりて半月形を造る。婆娑王の築ける所なり、げにもさもらき工事をなしたる者かなと、退化しきつた朝鮮人たる小生は瞠若たるのみにて候。城内に入れば宮殿の跡らしき平地あり、草茫々たる中に數軒の茅屋棲はりて、いとも閑かに夕飯の烟を上ぐ。◇アーチ形の石造にして、規模相當なる石氷庫は月城の西端にあり、も毀らず宏大。中に入れば今尚冷さ肌を撲つ、恐らくは蚊川の氷を貯藏して、半月城内及び臨海殿あたりの夏を凌ぎしものならん。其より西すること數十歩、茂れる松林中に昔脫解王の廟に詣で、蚊川の畔、垂楊の影に憩ふ。半月城の西端より東端までは數丈の絶壁にして、直ぐ下が白沙清流の蚊川、其兩端に石塊の散亂たるが月精橋、月精橋の遺蹟にて候。當時は船を通じたりと云ふも今は時々水さへ涸るゝ小川にして、其の廣き河床及び雄渾なるカーヴが、昔日の大河たりし俤を止むるのみに候。炎熱中々甚しきに此處に坐して候。

◇秋近し【西大門門外にて】

◉大隈侯容態稍小康

再度御使を差遣さる

二十四日午後零時三十分發表されたる大隈侯の容態左の如し

體溫三十七度三分、脈搏六十六、呼吸二十六、嗜眠の狀態にして其他異狀を認めず（東京電話）

▼膽囊炎併發 兩博士の診察

二十四日午後三時三十分青山、三浦兩醫學博士立會の下に大隈侯を診察したる結果膽石病と膽囊炎を併發せるものと診斷せり侯は老體につき下劑を一時に頓服せしめず分服の上徐々に恢復を待つ事とし其の處置をなしたり（東京特電）

▼再度御使を差遣さる

二十四日午前九時三十分侍從伯爵清水谷實英氏は畏き邊りの思召を體し籠瀨宮内次官を從へ大隈侯を同邸に見舞ひ 聖旨の程を傳達し猶ほ主治醫三浦謹之助博士より詳細の病狀を聽取し直に參内の上恭々しく前夜來に於る侯の病狀を奏上したり（東京特電）

▼見舞客陸續

二十四日朝來正午までの大隈侯邸見舞客は伊集院元帥、伊藤公、鍋島侯等貴紳五百餘名を算したるを以て新宿署より特に警官を同邸に派し邸の内外を警戒せしめたり（東京特電）

▼俄かに安堵を許さず

輕井澤に避暑中なりし加藤高明子は大隈侯重態の報に接し、同地に滯在中なりし尾崎行雄氏と共に二十四日午後一時三十分上野驛著歸京せるが加藤子は語りて曰く『侯爵今日の容體は大分良好なる如くにて吾々も安心したるが併し侯の病氣は小康を得たりとて俄かに安心すべからず侯の腹痛全く歇み熱度下降して其の儘兩三日も經過せば安心なれども目下の處最も戒心を要す』と（東京特電）

▼青山博士歸京

輕井澤に避暑中なりし大隈侯主治醫青山醫學博士は急電に接し急遽歸京したり（東京特電）

◉次回小說豫告

櫻御殿 （近日揭載）

（廣島城）

其趣向と文章の妙に至りては覆面大家の獨占舞臺なり筆者の何人かは其獨特の面白味を味へば自ら了解すべし

櫻御殿は加藤清正と共に豐臣家の最後を彩りし剛將福島正則が廣島城の奧殿に持ちたる一構、櫻御殿！其の名の如何に美しくも且つ果敢なげなるよ櫻正則は太閤恩顧中にも最も正直に且つ最も强き武士なりき櫻御殿は彼の晩年を語り彼の氣質を語り彼の懷しき心根を語り太刀の尖頭に置く花の露の落ちて聲ある事情を語るあゝ櫻御殿よ

◉沈沒軍艦引揚中に沈沒

全南濟州島大靜面毛瑟浦居住鈴木銀造は所有機械及び鐵材を積みたる機船（十五噸）にて八月十日午後三時頃港外四哩計りの箇所にて先年沈沒したる英國軍艦の引揚作業工事中俄かに風浪に襲はれ件の機船は機械鐵材諸共に顚覆して沈沒するに至り損害約二千圓を蒙りたるが乘組人夫十五名の内十四名は辛くも救助されしが金左龍（二八）は行衛不明となれり

◉裁判所構内より兇賊脫走す

平北龜城郡塔洞憲兵分遣所詰佐藤上等兵は二十二日午後强盜犯人金履源を新義州支廳に護送し來り裁判所に於て係員と用談中の隙に賊は巧みに捕繩を脫して逃走したるより非常手配をなして行衛を嚴探せしも未だ逮捕に至らず（新義州）

◉飛んだ火事騒ぎ

京城蓬萊町六十九番地男爵李載克氏方門内西側の下人部屋の松葉置場より二十三日午後四時五十分頃發火したるも常備消防出動松葉十把を燒失したるのみにて消止む▲二十三日午後三時五十分頃本町三丁目二十三番地鍛冶屋營永倉太郎方にて鐵管を伸ばす爲め其の室内に砂を入れ兩口を密閉して燒きたる鐵管を叩き上げ居れる際中の砂が發散したるを折柄前の路上を通りかゝりたるもの火事と間違へ消防隊に急報したるより常備消防出動の結果前記の次第と判明何等の異狀なかりしと

◆明治神宮へ 献納品

明治神宮奉贊會にては神宮外苑内に明治の盛大を記念す可き方法として或は各種の考案設計を爲し或は木石其の他の物件の献納に依りて著々其の事業を進めつゝあるが先帝の御治世中御偉績を表彰し奉らん爲に

□國威を四方に發揚せられ皇化を海外に宣布し給へる御偉蹟を表彰し奉つるに適當なる記念物を闕き居れるは誠に遺憾とする處なるにより奉贊會にては更に今回海外地方卽ち沖繩、臺灣、關東州、樺太、朝鮮地方の製作品にして古來傳承のもの又は特に

□奉献の目的を以て新製したるもの等記念となるべきもので永久保存に適するもの屋外に曝露して支障なきもの其の地方固有の趣味を發揮したるもの或は植物にして其の地方固有の品種に屬するもの東京の氣候風土に堪へ得るもの又は鑛物及び岩石にして容易に搬出し得ざる程度の容積若くは重量あるもの殊に石質形狀の

□珍奇なる物等の献納を希望する由にて地方官廳より右物献納の申出ありたるときは設計委員會に於て審査の上其の採否を決定す可しと

えんげい

◉漣川局長へ發狀 [illegible]の件に因る道路課に本紙に掲載された如く[illegible]の同情を惹きしが、退信局にては同氏に對する[illegible]ため有志相謀り百九十餘圓を贈りたりと

◉海老一龍山に開演 仁川に興行中の海老一鐵五郎一座は明日開演以來滿員の好評を博したるが同一座は龍山方面の希望により二十五、六の二日間龍山櫻商館に開演すべしといふ

◉有樂館 二十四日より全部新寫眞と差替へたるが、その主なるものは左の如し 寫眞ニュースアサヒ週報四十八號▲滑稽デブ君の得意二卷▲活劇婦人探訪記者三卷▲活劇貴公子ローリング五卷▲喜劇小さん金五郎五卷

◉黃金館 二十五日より新寫眞と差替ふるが其の主なるものは左の如し▲實寫鳥の話▲喜劇ホルムよりも强し▲連續活劇魔か人か惡る影四卷▲餘興玉龍齋大光の寶術再十番▲新派劇千鳥結び

◉大正館 奇拔なる滑稽物のみ集め來りて夏の活動寫眞の要求に投ずるニコ\／大會が呼び物となりて連夜大入を極し居れるは興行法の成功といふべきか、

◉壽座 サクラゼーム東亞婦人の後援の女浪花節語り八重子一行にて開演中、同人は屢々京城に來りし事あり美しいところが喝采か博し居れり

◉小奈良來る 奈良丸の妹にて女浪花節界に重きを爲し居れる吉田小奈良は近く當地に乘込み來るべく一行は女ばかりなりといふ

◉浪花館 浪花節開演中、京山若丸、竹川勝生一行にて開演中なるが五錢均一の大勉强の爲とて相當の入りあり

玩具卸商

薄利多賣出荷迅速は弊店の特色

京城本町一丁目

織田東洋館

電話二六九八番

振替京城二五六七番

靴製造販賣

皮より強い値の安い

專賣品柳製靴

日ノ丸國旗附屬品

毛布 一枚續き

三圓五十錢以上色々

防水布マント各種

魔法瓶及中瓶取替

京城本町一丁目

高木旅行用具店

電話一三四番

カーバイト

アルコール

工業用 硫酸

燒酎

釜山辨天町

福榮商會

電話長三三九

振替京城一一九

眼科專門

金井眼科醫院

京城若草町卅九番地（舊新道路中央）

金井豐七

電話一五五六番

日曜祭日午前中

新築落成

新築中の處今回落成し左記の處に移轉從前の通り診療に從事仕候

瀨戶外科皮膚科醫院

（診察夜九時迄）

京城旭町二丁目（舊三丁目）電話二四九八番

醫學士 瀨戶潔

長男保治儀養生中の處病氣中の處而病氣中の處相不叶昨朝死亡致候間此段謹告仕候

追而今廿五日午後四時南大門外大本店出帳若草町曹洞宗南山大本山別院に於て葬儀相營申候

父 中澤藏一

親戚總代 中根松一

總代 正木市松

友人 島田忠作

東生龜吉

總代 楢崎伊勢吉

大同生命保險株式會社

第拾五期決算報告

（自大正五年七月一日 至大正六年六月卅日）

一保險契約高 六千壹百參拾五萬四千五百圓

一諸積立金 壹千九拾九萬八千參百四圓

當期利益金 壹百五拾九萬六千四百貳拾參圓八拾壹錢貳厘

◎利益金處分

内

金貳萬四千五百圓 法定準備金

金貳萬圓 役員賞與金

金壹萬八百圓 株主配當金（年八分）

金壹萬圓 使用人養老積立金

差引金壹百五拾參萬壹千壹百貳拾參圓八拾壹錢貳厘

内

金壹百貳拾萬八千六百八圓七拾錢 保險契約利益配當準備金

金七萬五千圓 株主特別配當金（年七分）

金拾五萬圓 役員及使用人特別慰勞金

金七萬圓 代理店功勞表彰金

再差引金貳萬七千五百拾五圓拾壹錢貳厘 次年度繰越金

◎貸借對照表

資產ノ部

未拂込株金	壹六五、〇〇〇
現金	六、五〇九〇〇
郵便振替貯金	五六、〇四〇
銀行預金	貳六六、八八〇
貸付金	四、六〇八八八
有價證券	六九、五六〇
不動產	壹八五七九
什器	五、三〇五
未收利息	四壹、〇九四〇
未收保險料	參、八〇五〇
代理店勘定	六九〇〇五五
假拂及假勘定	壹參、六參九
支店建築費勘定	九八、四八四
合計	[illegible]

負債ノ部

株金	參〇〇、〇〇〇
法定準備金	七五、〇〇〇
責任準備金	五、九〇七、〇〇〇
支拂備金	壹、七六〇、〇〇〇
使用人養老積立金	七〇、〇九〇
社員身元保證金	參、七〇、五〇
一時預金	九、四〇五五〇
利益金	壹、五九六、四二三
合計	[illegible]

◎我社ノ利益配當

前記ノ利益配當準備金ハ保險契約ニ從ヒ満期契約ニ對シテハ保險金額ノ壹割貳分貳厘以上參割貳分壹厘、被保人死亡ノ契約ニ對シテハ同貳割九分貳厘以下ノ利益配當ヲ爲シ得ル計算ナリトス

大阪市西區江戶堀上通壹丁目九番地

大同生命保險株式會社

取締役社長 廣岡惠三

常務取締役 紙園清次郎

取締役 西田由

監查役 岩田幸七

同 星野行則

◉千餘圓を詐取

[illegible]を僞造し件の地所を七百圓に賣却し内金二百五十圓を詐取し尙湖州郡花郎面晩松里高蕃翠よりも同樣手[illegible]

[illegible]て物品の供給を受け居るものにし[illegible]即ち本年春季に於ては對上海銀百兩[illegible]に會するのみに過ぎず一般困難[illegible]

[illegible]の地所を有す[illegible]の原因は姉[illegible]自分の[illegible]

[illegible]濟南市場[illegible]運銀貫出し業者は[illegible]市場にては[illegible]上に達すべきもの[illegible]の豫想を爲すもの多[illegible]にては最近便船[illegible]

[illegible]加は必然にして其際若し突飛なる[illegible]貴を演ずる時は南支方面よりの輸入の[illegible]大計畫あれば一圓を補するが如き事は萬々無かるべし（北[illegible]

花筐(八九)

松田竹の人作

清徳が誠意を籠めた言葉には、京子は感銘して
『先生が、亡父の恩義に御報い下さる代りに、妾を御世話なすつて、市野へ還れるやうにして下さるといふのは、亡父が草葉の蔭で甚麼に喜ぶか知れませんですわね。何分とも此上ながら、宜しく御願ひ申し上げます。』
『今も申す通り、必ず市野さんへ御還りに爲るやうにして上げる意で居ります。時に京子さんの御年齢は御幾つですか？』
京子は、清徳が何故自分の年齢を訊くかと不審に思つた。けれども訊かれるまゝ
『二十五歳に爲ります。』
『然うすると、丁度貴女と同年に爲る譯です』
『何誰が、妾と御同年でゐらツしやいますか？』
『突如に、貴女の御年齢を訊きましたから、定めて變に御思ひに爲つたでせうが、未だ逢つたことはありませんが、私に姪が一人あるのです。丁度貴方位の年齢だと思ふと、其姪のことが想ひ出されましてね。實は然うです。』と清徳は卓の上に兩肱を突いて、
『私に清安といふ弟が一人ありましたが、これは東京へ出て實業に志しまして、苦心慘憺の結果、東京實業銀行といふのを創立して、專務取締役から、後には頭取と爲りました。銀行の頭取と爲つたゞけに、多少財産が出來まして、鎌倉の長谷に別莊を買ひ求めたのです。然うすると或る年の夏、其の別莊に避暑してゐて、お袖といふ小間使に手を付けたさうですが、其袖といふ婦人が、弟の胤を宿したのですね。世間體は憚つて、密に金千圓を手當として遣り、何ぼ後日の證據として、能樂の花筐を織り出した纐纈の裏の付いた鹽瀬の紋付の羽織を遣つて、宿元へ返したさうです。私は能樂には没趣味で、更に解りませんが、弟の話ふたには、花筐といふ能樂は、繼體天皇が未だ御位に即かせられぬ前、越前にゐらせられたが、其御寵愛に爲つた照日の前といふ婦人が、御別れを悲しむ餘り狂人と爲り、御形見の品々を携へて、御蹤を慕うて京都へ上つたが、天皇は其眞情を御感じに爲つて、更に御召抱へに爲つたといふことを作つたものださうですが、お袖も又たこれと同じやうな詳たい結果に爲れといふ、弟の寓意であつたさうです。』
『それは詩的な御噺ですね。』と早見は幽しがる。
『ところが、其後弟は肺を病みまして、鎌倉の別莊で死にましたが、其臨終に、私へ申しましたは、今御噺したとゝ、其お袖の腹に出來た兒は、男子か女子か知らんが、其所在を捜り出した上、遺産の中拾萬圓を遣つて、世の中へ出してくれ、證據は能樂の花筐を織り出した纐纈の裏の付いた羽織だと言つて息を引き取つたのです。それで私は、お袖の家のあつたといふ片瀬を仔細に調べましたが、其兩親は疾くに死去してお袖の行方が皆目分らなくなつてゐたのです。捜し出さなければ、弟の遺志を空うすると思ふもんですから、時に其事が頭に浮んで來るのです。丁度それが二十五年前のことに爲りますから、お袖の生んだのが、女子であつたならば、今は恰も京子さんのやうに爲つてゐるだらうと、ひよいと頭に浮んだもんですから、御尋ねしたやうな理由で、遂御吹聽したのでして。』と清徳は語つて、淋しい笑ひを見せた。

西洋料理 アイスクリーム おいしい京城第一との高評を博し居り候 南大門通 電話二五七一番 カフエータイガー

千代田號印舖 京城本町一丁目 電話九八七番

日報俳壇

日誌の中より(上)

平壌 野村鴨原

庭木騷ぐ風となり日向葵哉
日向葵に音立てゝ雨が過ぎたり
日輪に花稜ぐ日向葵の晝
日向葵の葉陰に犬が春伸びせり
日向葵光る朝からの暑さ
日向葵の午下り洗濯屋が來し
朝月に日向葵の畑の土踏む
囚人等日を浴びて一ト日土掘れり

鎭南浦まで

龍岡 小川化石

鎭南浦
ガラツとした町の霽さ蚓鳴けり
大同江
江に續く炭積みし船や雲の峰
驢馬と乘りて舟脚遲し夏の河
兵士の耐熱行軍
行軍の馬嘶くや青嵐
機關銃の硝煙飛ぶや夏野原
講評に兵の叉銃や雲の峰

俚謠正調(例會吟)

根無し舍

題『露』

二十二點雛小路、二十一點迎舟家、十五點市松、十二點むらさき、十點浮綾鳥、四點久廼家、三點以下略

露の情けに泣く蟲きいて、小萩ほろ〱貰ひ泣き―三點　小島浮綾鳥
露の干ぬ間の短い命、いとし朝顏日蔭もの―四點　むらさき
蟲につく〲一夜を泣かれ、貰ひ淚か草の露―四點　大塚久廼家
露の情けに咲く朝顏は、人も得知らぬこぼれ種―四點　河村市松
蜘蛛の絲にも秋立ち初めて、一目一目と結ぶ露―五點　雛小路太郎
落ちて碎ける氣の白露も、葉末まで來て一と思案―六點　高野浪廼家
露に濡れ凝をしながら悄くや、浮氣芒が又招く―七點　小島浮綾鳥
蟲はこの頃小唄の稽古、露はそろ〱散る稽古―八點　雛小路太郎
月を宿して夜毎に結ぶ、露は可愛い草枕―八點　むらさき
人―九點　雛小路太郎
寄れば遠のく虫の音悄くや、觸りや散る露私や可愛い
地―十一點　河村市松
泣いて居るのかうつむく萩を、覗きやほろりと露が散る
天―十二點　高野浪廼家
露にうれしく一夜を濡れて、月に貼かし女郎花

新刊紹介

▲俚謠正調第三例會報告 一、課題(甲題)『糸瓜』又は『糸瓜』(乙題)取材自由 [illegible] 一、用紙 半紙二つ折、甲題、乙題各五首宛用紙を區別すること 一、〆切 九月五日迄に左記宛送付のこと 一、入營者宛は京城本町四丁目二五第一銀行前中村方國小路太郎

▲麥品種論(武田農學士著) 農學博士本田幸介氏は本書に序文を寄せて曰く [illegible]

▲婦人世界(九月號) [illegible]

▲婦人界(一) [illegible]

▲趣味の友(八月號) [illegible]

▲ピック號自動車特賣 東京丸の内海南商會は歐洲戰亂後各自動車の騰貴せるに不拘戰亂前の契約に依る文品數百臺を特賣せるを以て此際三百圓を限り特賣する由尚ピツク號は五人乘七人乘、乘合用等の各種を取揃へ價格低廉は勿論機械の堅牢運轉圓滑にして靜肅なることは既に斯界の定評ありと

▲東京社の發展 東京京橋區南鍋町外東京社は雜誌婦人畫報、少女畫報、日本幼年、少女新聞等を發行して好評を博しつゝあるが今回時代の要求に應じ新に婦人向きの婦人雜誌『婦人界』を發行せり內容は悉く實際的記事と娛樂的讀み物を以て滿たされたれば家庭日常の相談相手としてまた婦人唯一の慰安として申分なし

讀者の領分

近頃北漢山登山者の事に付て記事が見ゆるが如何な北漢山だとて無暗に上れば危險はあるから白雲臺や仁壽峯や國望臺には無暗に登らぬが好い其れともたしかな案內者があれば好い(山の案山者)▲京城附近で登山をして最も愉快なのは道峰山であらう同所は先づ小金剛の觀があるね(議政府の住人)▲市中の汚物取りは最う少し朝早く來れば好い九時過に來て汲まれてはやり切れない(朝飯生)▲市內飲食物の取締で不良飲料水の檢査は好いけれど店先の西瓜の切つたのに蠅が眞ツ黑くなつて居るにお小言のないのはチトほことんだ(胸が惡い男)▲南大門外の旅館中にお客の物を他のお客に貸して失くしても知らぬ顏をして居る不埒な宿屋があるが旅館組合は無言で居るのだらうか信用にかゝるよ(組合員の一人)▲旭町邊の料亭は未だに夜の十二時を過ぎる處ではない二時迄も騷がしい畢竟するに之れは無暗に許可したからだ迷惑なのは近所である(子持ちの親)

金色の鳩

地頭自ら人柱に立たんとす 家來の娘その身代りに立つ

中村芝雀談

(ミツワ文庫大阪)

耶馬溪と云へば天下の絶景として謳はれ渡つた處でございますが此の耶馬溪へお出になります方は山國川の堤に沿うて溯ぼりますとその堤の側に松や杉がこんもりと茂つた小さい森がありますそれが八幡鶴市神社でございます此の神社には趣の深い由緒が傳はつて居ります。此の山國川が頻に溢れて水害が夥しかつたものですから地頭が七人額を集めて如何したものであらうと相談をいたしました其の中の一人で湯屋彌正と云ふ方が申しますには只此上は人柱を立てて堤防を築いて水を留めやうではないか話は之に纏りまして神樣にお伺ひを立て名々河上から袴を流しまして袴の水に沈んだものが人柱に立たうと云ふことになりましたさて袴を流しますと此ことを言出しました彌正の袴が先づ沈みましたので彌正が愈人柱に立つことになりました此の彌正の家來吉野重定の娘に鶴女と云ふもののがありましてその年三十五歳になりますが此事を聞いて進み出て申しますには妾は父に先立たれ夫に別れて世に望とてもない身でございますれば引かへおそれながら殿樣は此土地ではなくてならない方でございますから妾が御身代に立ちまして人柱に立ちたうございますと願ひ出ました其子の市太郎と申します十三歳になります者が母と一所にと願ひ出ましたが二人は七人の地頭と別の杯を酌みかはしまして輿に乘つて堰の中央の水底に沈みました二人が水底に沈んだと思ふと不思議や今二人が沈んだ邊から金色の鳩が二羽現れて八幡樣の方へ飛んで行つたと云ふことでございます此が此の八幡鶴市神社に傳はつて居ります縁起でございます此の夕暮一風呂浴びました涼しい湯上りに斯樣な各地の話を聞くのも夏の樂みの一つでございます此の入浴が夏には樂みでございます暑さと汗でねとねとと粘る樣な身體で浴槽に

▲中村雀助日く 暑い時にはお化粧が [illegible] 外出をしますと、白粉入に汗が [illegible] 見苦しく見えるものでありますから此けない [illegible] 化粧をなさる樣におすゝめいたします。[illegible] 御婦人の方へミツワ石鹸を用つて一わたり洗つた後へ、ミツワ化粧水を皮膚へ擦り込む樣にしますと白粉が能く附ります [illegible] 夏にふさはしいよいお化粧に出來ます。(發賣品目錄お望の方へは[illegible]丸見屋商店)

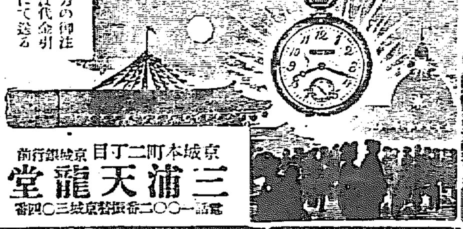
に一浴浸りまして快よく濡れた皮膚へミツワ石鹸を溶きました雪の樣に白い泡沫を塗りまして靜かに撫でますと汚垢は此の石鹸の作用で吸はれる樣になつて此の泡沫に混りますから此をお湯で洗ひ流しますと泡沫は汚垢ぐるみするりと氣持よく落ちて皮膚は清潔になり艶は助けられて機能は健やかになり生々としていゝ色澤になりますのも白粉ののりものびも他の石鹸を使つた時とは違つて無類によくなりますから夏にふさはしいお化粧がすつきりと出來上ります此の入浴の際に錢湯でしたならば上り湯の桶の中へミツワ花の雫を四五滴、家庭の湯殿ならば浴槽の中へ豬口に一杯ほど注ぎまして用ゐますといゝ芳香が立籠めますから心持が宜しい上にミツワ石鹸を助けて一層よく皮膚を整へます。

商況

大阪株式特電

[illegible]

時計貴金屬指輪眼鏡商



地方の御注文は代金引換にて送る
京城本町二丁目 京城銀行前
三浦天龍堂
電話一一〇〇 振替京城三〇四番

明治町佛蘭西教會坂下(黃金町入口)
ドクトル女 醫 中村齒科醫院 電話一五〃三番
分院(黃金町二丁目郵便所隣) 電話一八九番

最新刊
打碁と要領 野澤 一、二〇
沼碁互先定石新法 中川岩佐 一、〇〇
鐵道會計 佐藤 二、五〇
朝鮮醫師試驗受驗提要 安達大壽計 四、〇〇
大河原隆光著 定價一、七〇 支那の眞相
水戶黃門 碧瑠 一、三〇
淚香傑作集 淚香 一、三〇
委坂六千句 藤鳴雪 六五
和歌をさなまなび 竹島羽衣 四五
蜂谷柳莊著 定價一、二〇 新譯碧巖錄
命 國木田獨步 五五
江 渡邊霞亭 一、三〇
荻 田園 春秋 相馬御風 七五
烈女孝古 日鮮文藝香傳 宮梯 五〇
京城本町一丁目 大阪屋號書店 振替京城二五七三番

質 大口歡迎
京城黃金町長橋町入 電話二九一六番
商品擔保便利取扱 田村質店

陸軍御用酒
京城蓬萊町 發賣元 三巴酒造株式會社 電話長一〇六七番 振替口座六一八番
大田出張所 電話長一三五番
平壤出張所 電話長五一一番
特約販賣所は鮮滿樞要の地にあり

京城西小門町二一番地(舊營院跡)
田中丸病院
院長 醫學士 田中丸治平
副院長 醫師 上野和夫
電話八八五番
入院隨意 普通病室隔離病室の設備あり

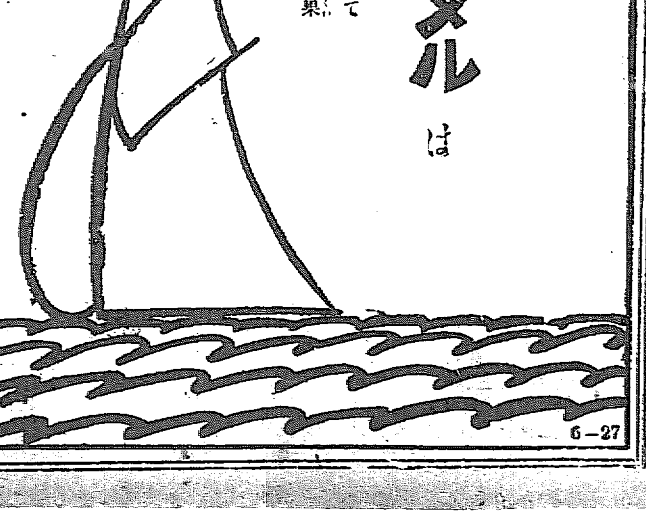
純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから……卸値がお安いです
京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二〇番

營業品目
肥料部
蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹸部
化粧用石鹸、工業用、家庭用石鹸、浮石鹸、粉末石鹸、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、硫曹達
京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
京城岡崎町一四番地 朝日石鹸製造所 電話二六四番 振替口座京城九七〇四番

不動產登記申請用紙 販賣 見本添付御照會乞ふ 即時回答
京城明治町二 電話二八九番 瀨川中央堂 振替二〇四五番

營業品目
黑鉛精鍊用唐箕
精米用唐箕
鑛山用具一式
製粉用鑛山用 篩各種
精米用製粉用鑛山用 金鋼類各種
各種製造販賣
京城府北米倉町 京屋商店 長電話二七〇三 略(き)

森永ミルクキャラメルは
針路を品質本位に取つてたゞ一直線に進んだ結果
嗜好上の新發見！
衞生上の新領土！
として倍々其價値が認められて來ました



6-27